第６次都留市長期総合計画

政策・施策評価
報告書

－ 平成 29 年度分 －

都留市

目次

１．　基本的な考え方 1
（１）長期総合計画の施策体系 1
（２）計画の進捗評価について 1
２．評　価 2
（１）手法 2
（２）評価対象 3
３．平成 29 年度　政策・施策評価結果 4
（１）産業・基盤分野 4
① 豊かな産業のあるまちづくり 4
② 快適で機能的なまちづくり 11
（２）福祉・子育て・健康分野 14
① 地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり 14
② 一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり 19
③ はつらつとして暮らせるまちづくり 23
（３）教育分野 26
① 知の資源と連携したまちづくり 27
② 生きる力を育む学校教育のまちづくり 27
③ 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり 30
（４）生活・環境分野 34
① いつまでも美しいまちづくり 34
② 快適で潤いのある生活を送れるまちづくり 39
（５）安全・安心、コミュニティ分野 44
① 安全・安心のまちづくり 44
② 個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり 50
（６）行財政分野 56
① 健全な行政運営のまち 56
② 質の高い行政サービスが提供されるまち 60

１．　基本的な考え方

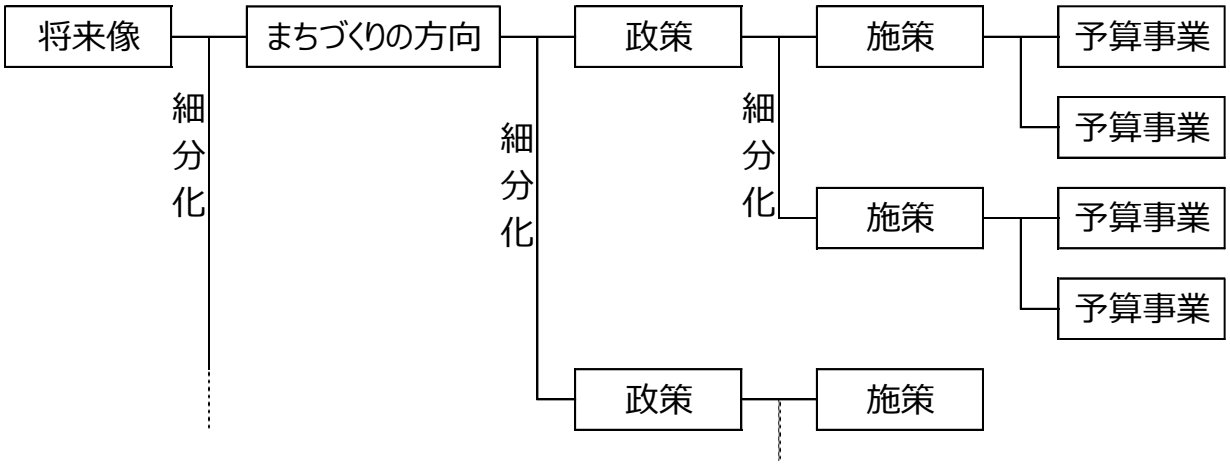
（１）長期総合計画の施策体系

第６次都留市長期総合計画では、基本構想において、目指すべき将来像「ひと集い　学びあふれる　生涯きらめきのまち　つる」を設定し、この実現に向け、まちづくりの方向（分野）を６つ定めています。

そして、これらを実現するための手立てとして基本計画を策定しており、まちづくりの方向を細分化していく形で、政策、そして施策が設定されています。

また、各課・各担当における予算事業は施策をさらに細分化したものとして設定し、計画の進捗を行う形を取っています。

■長期総合計画の体系図（例）

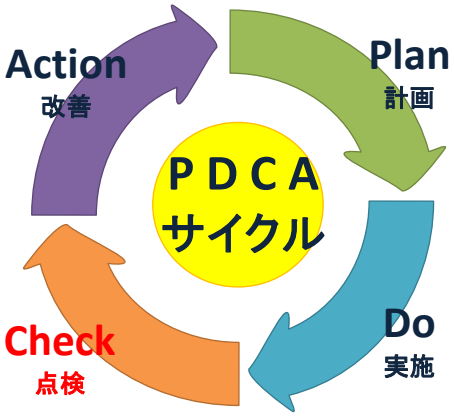


（２）計画の進捗評価について

計画の進捗評価は、ＰＤＣＡ（Ｐｌａｎ【計画】・Ｄｏ【実施】・Ｃｈｅｃｋ【点検】・Ａｃｔｉｏｎ【改善】）サイクルの中における「Ｃ」として位置付けられており、計画期間内に行う業務成果を評価し、その結果を「Ａ」である改善へとつなげることによって、行政サービスを向上させる重要な業務の一つです。

本報告書では、平成29年度に実施した政策及び施策の評価結果をお示しし、皆様に市政の状況をお知らせします。

■ＰＤＣＡサイクル



２．評　価

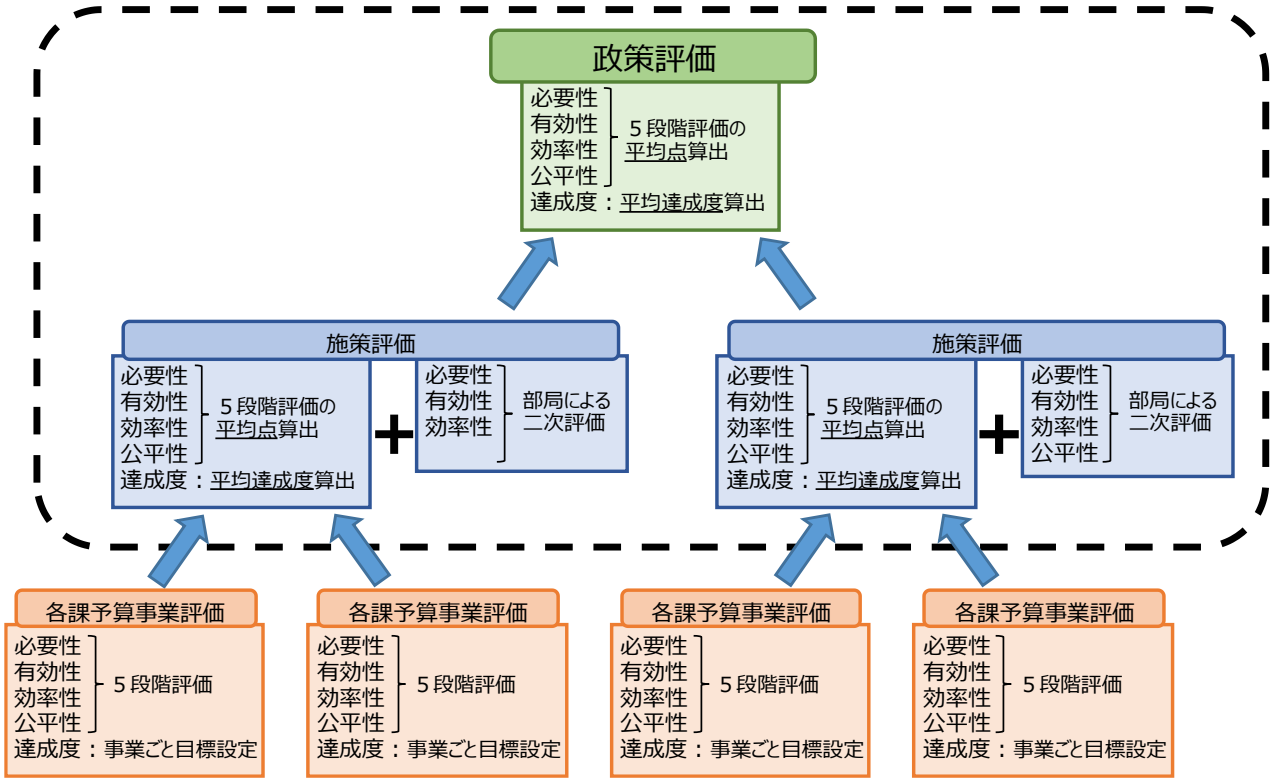
（１）手法

政策・施策の評価方法については、第６次都留市長期総合計画に定める目指すべき将来像を実現するために、取り組みを細分化していく体系となっているため、各課において実施される行政評価を基礎として、その成果等を積み上げる方式をとることにより、政策・施策の評価を実施します。

具体的には、個別の事業について、各課が「必要性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」、「達成度」の５つの項目ごとに１～５の点数をつけていますので、その平均点を算出する形となります。計画に対する事業の進捗度は、５に近づくほど高く、１に近づくほど低くなっています。この積みあがった評価を基に、再度施策全体を見て実施する２次評価を行い、施策評価が決定します。そして、この平均点を算出し、上位の政策・施策の評価を決定する仕組みとなっています。

また、各事業評価の際に設定した成果目標の達成度も平均し、事業進捗度という形で評価するとともに、事業にかかったコストも積み上げ、プロジェクト全体でいくらかかったのかを明らかとします。

■評価の仕組み



（２）評価対象

前項に記載したとおり、今回の政策・施策評価は、各課・各担当による行政評価がベースとなっています。しかし、行政評価としては、行政評価実施要綱が定められており、この中で下記のものを対象として限定しているため、全ての予算事業が評価対象となっているわけではありません。

３　対象事業

評価対象となる事務事業は、第６次長期総合計画実施計画に掲載されている事業を基本とする。ただし、実施計画から除外されている施設管理経費は含むものとする。なお、次の事業は、行政評価の効果が低いものと考えられるため、評価対象から除外する。

（１）市の裁量の余地がないもの又は行政評価に馴染まないもの

・法定受託事務（国政選挙、生活保護、戸籍事務等）

・市債償還金、還付金及び還付加算金、生活保護費、児童手当費、臨時福祉給付金など

（２）普通建設事業

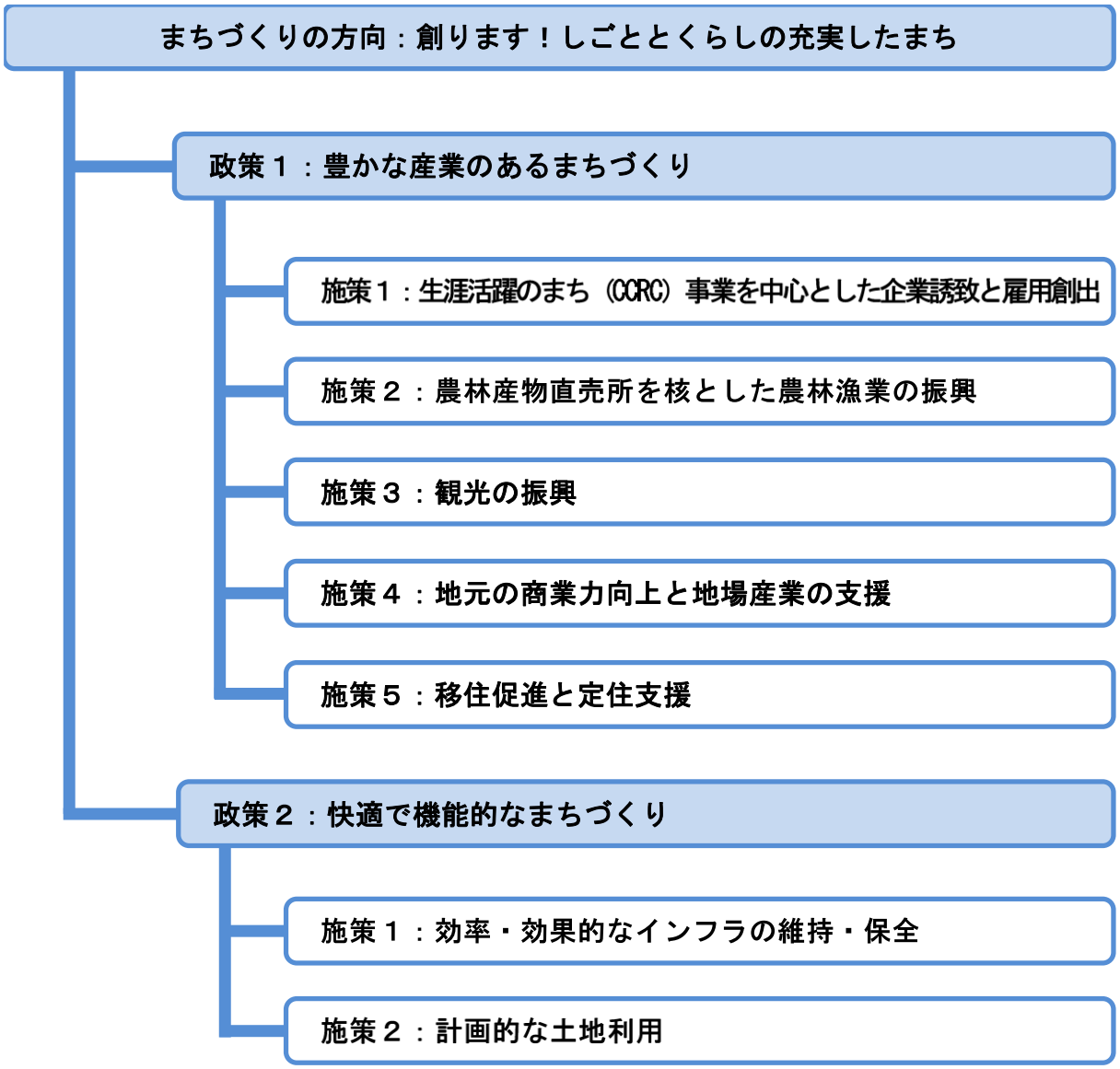
・道路、橋りょう、学校、庁舎等公共用または公共用施設の新増設等の建設事業（実施設計を含む）

・１件 1,000 千円以上の備品購入

このため、施策によっては下位に位置する予算事業が無く、施策評価が不可能な項目も出てくる場合があります。この場合、上位の政策評価をもって全体の進捗を測るものとします。

３．平成 29 年度　政策・施策評価結果

（１）産業・基盤分野



① 豊かな産業のあるまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「豊かな産業のあるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.1（５点満点）となり、100 点満点換算では 82.5 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 48.5%となり、なかなか成果があがっていません。政策の成果目標達成度を見ると、工業系の統計による伸びが見られないことや、小売り事業所が減少していることが達成度の低さにつながっています。しかしながら、年間商品販売額は大きく伸びており、消費活動が年々活発になっていきていることが伺えます。今後、産業施策等の効果により、工業系の指標の向上が期待されます。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 220,351 千円、人件費 67,254 千円、そして歳入として補助金等 32,730 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 254,875 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
生涯活躍のまち（CCRC）事業を中心とした企業誘致と雇用創出	4.8	4.8	4.3	5.0	63,627	20,473	14,226	69,874	5.0
農林産物直売所を核とした農林漁業の振興	4.5	3.8	3.7	3.5	84,729	18,089	12,863	89,955	4.0
観光の振興	4.9	3.9	3.2	3.6	49,805	19,100	5,641	63,264	2.7
地元の商業力向上と地場産業の支援	4.5	3.8	4.0	3.8	11,985	5,652	0	17,637	1.7
移住促進と定住支援	5.0	4.5	4.0	3.0	10,205	3,940	0	14,145	5.0
平均・合計	4.7	4.2	3.8	3.8	220,351	67,254	32,730	254,875	3.7

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均
	4.7	4.2	3.8	3.8	4.1

100点換算
82.5点

■政策成果目標達成度

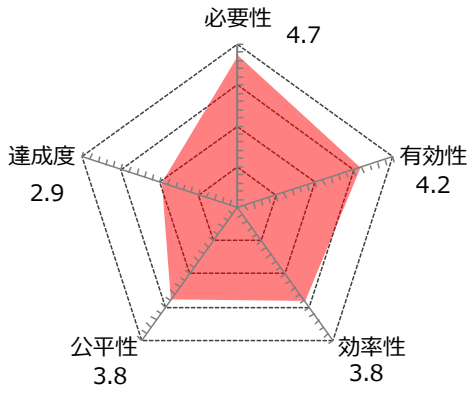
項　目	現況値	目標	実績	達成度
製造品出荷額	56,487百万円	56,496百万円	53,300百万円	1.0
工業事業所数	150社	150社	141社	1.0
年間商品販売額	28,283百万円	28,294百万円	36,233百万円	5.0
小売業事業所数	358社	356社	270社	1.0
認定農業者数	6人	8人	7人	3.0
平均・合計				2.2

達成度	平均
3.7	2.9

達成度による進捗度
48.5%

■レーダーチャート

各項目の総合得点をレーダーチャート化して見ると、達成度が若干低くなっています。達成度についての得点が一番低く、５点中 2.9 点でした。この要因としては、政策の成果指標の項目が工業や商業全体に関する統計数値となっており、各種取り組みがこれらに波及するには一定の時間が必要なことによります。施策についてはこれからが中長期的取組となりますので、達成度の向上とあわせ、今後とも継続的に実践的な事業実施を行っていきます。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策		豊かな産業のあるまちづくり
施策		★生涯活躍のまち（CCRC)事業を中心とした企業誘致と雇用創出
	概要	地域内に複数の大学が立地することや、東京圏に近いという地の利、自然豊かな環境など、本市の強みを十分に活かした「生涯活躍のまち（ＣＣＲＣ）」事業を実現することにより、医療介護企業を誘致するとともに、介護の前段にあたる生活支援分野での雇用創出や、関連

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	地域おこし協力隊推進事業（企画課分）	1,555千円	11,379千円	12,934千円	4	4	4	5	4.3	5
2	ＣＣＲＣ推進事業	18,918千円	52,248千円	71,166千円	5	5	5	5	5.0	5
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		20,473千円	63,627千円	84,100千円	4.5	4.5	4.5	5.0	4.6	5.0

■一次評価結果

点　数
92.5点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
104,115千円	63,627千円	61.1%	20,473千円	14,226千円	69,874千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼5	5	新たな産業の構築と、生涯にわたっていきいきと暮らせる生活環境を整える事業として、まちの魅力向上にもつながる総合的なまちづくり事業といえる。このため、公共性の高い取り組みと判断できる。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼5	5	分野横断的な取り組みであり、目指すべき将来像への貢献度は高いものがある。また、まだ取り組み段階ではあるものの、市内外より多くの注目を集める施策となっている。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼4	4	全国で初めての取組みを推進しているということもあり、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら進めている。 そのため、事業全体を効率的に進めることは難しいが、全体的には順調に進捗している。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼5	5	市民全ての豊かな生活を実現する取り組みであるとともに、事業にかかわるステークホルダーも互恵関係を築けるよう、連携・協働を進めている。

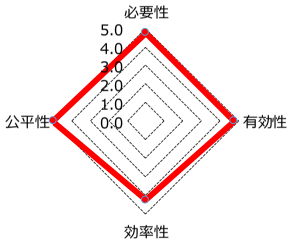
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.8	4.8	4.3	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
93.8点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

２つのプロジェクトのうち、１つ（単独型）は、平成31年夏の完成予定となっており、順調に進んでいる。今後は、この進捗管理とあわせ、もう1つ（複合型）のプロジェクトについても、具体的に進展させていく必要がある。このため、各種施策の展開度合い等を確認し、検証しながらもスピード感をもって取り組むことが重要である。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	山口　哲央

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★農林産物直売所を核とした農林漁業の振興
概要	農林漁業生産物の販売拠点となる農林産物直売所（道の駅）において、消費者ニーズを直接捉えて、マーケティング力を強化します。また、集落組織や農業生産法人の生産体系の改革や認定農業者の経営力の強化、施設園芸の推進、遊休農地の有効活用や新品種への挑戦、地域の農業情報の発信等を通して生産者所得を向上させ、地域農業の活性化を図ります。さらに、食品加工や流通販売、観光農園などのサービス体制等を整え、６次産業化を推進します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	市単土地改良事業	3,888千円	7,679千円	11,567千円	5	4	5	3	4.3	4
2	林業施設事業	1,815千円	1,828千円	3,643千円	4	4	4	2	3.5	4
3	農業振興事業	5,261千円	17,193千円	22,454千円	4	4	3	2	3.3	5
4	道の駅つる管理運営事業	778千円	22,292千円	23,070千円	4	4	3	3	3.5	5
5	中山間地域総合整備事業	1,815千円	18,459千円	20,274千円	5	4	4	4	4.3	3
6	農産物振興事業	519千円	1,846千円	2,365千円	3	3	3	3	3.0	5
7	有害鳥獣対策事業	2,851千円	6,678千円	9,529千円	5	3	3	4	3.8	5
8	地域おこし協力隊推進事業	519千円	14,480千円	14,999千円	3	4	3	3	3.3	1
9	高収益作物導入事業	648千円	3,885千円	4,533千円	3	3	3	3	3.0	4
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		18,089千円	84,729千円	102,818千円	4.0	3.7	3.4	3.0	3.5	4.0

■一次評価結果

点　数
70.6点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
131,899千円	84,729千円	64.2%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
18,089千円	12,863千円	89,955千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 1～5：5	評価点の判断理由
			農林漁業の振興については、地産地消や地域経済活性化の観点からみても、必要性の高い施策である。また、道の駅オープンからの売上が非常に順調に進んでいるため、市民の農産物に対する見方も変わりつつあり、非常に市民ニーズを捉えた取り組みといえる。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 1～5：4	評価点の判断理由
			利用土地の少ない本市においては、これまで農林業の振興が弱みであったものの、兼業等によって就農する市民の自主性の高まっている。また、高齢者のをはじめとした多様な市民の生きがいづくり、健康づくりに寄与するなど、いきいきとした暮らしが実現することは上位施策への貢献にもつながるため、有効性は高いものと判断する。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 1～5：4	評価点の判断理由
			道の駅がオープンし、好評を博していることにより、生産者登録が増加し、費用対効果としては十分に高いと言える状況である。今後もソフト事業の展開等と併せ、事業実施していくことにより、更なる費用対効果の上昇を目指していく。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 1～5：4	評価点の判断理由
			農業等に従事する方のみがその効果を享受するわけでなく、ほ場整備や有害鳥獣の対策は、生活環境の向上にもつながるものと考えられ、公平性についてはある程度確保できているものと考えられる。

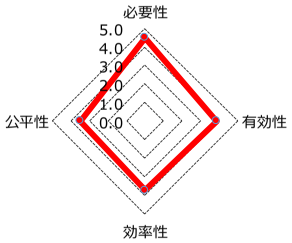
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	3.8	3.7	3.5

■施策評価結果

点　数	達成度
77.8点 /100点	75.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

果樹等の高収益な作物の導入や農地の集積・集約化による農業経営の効率化を進め、個々の農家の所得向上を図り、農業を生業とできるような支援策を強化するとともに、生産～販売までがワンパッケージとなったため、就農の門戸を広げる取組みも同時に強化していく必要がある。
また、「道の駅つる」は、年々生産者登録数も増加しており、今後ソフト事業等との兼ね合いにより、更なる相乗効果が期待できる施設となる。今後も来場者のニーズ把握をしつつ、精力的な事業展開を図っていかなければならない。
なお、農業の振興は、農地の有効活用による耕作放棄地の解消等景観の形成や、農業と農地の持つ多面的な機能（国土の保全、水源の涵養等）の発揮に繋がり、多くの市民の利益にもつながる。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	宮下　洋一

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策		豊かな産業のあるまちづくり
施策		★観光の振興
	概要	本市が有する豊かな自然、特色ある歴史や文化など、多くの地域資源を活用した観光エリアの整備を行い、地域の人々とのふれあいを通した都市と地方の交流の場としての着地型観光地づくりを推進するとともに、それらの観光資源を有機的に結びつけた観光ルートの設定

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	富士の麓の小さな城下町振興事業	1,685千円	11,282千円	12,967千円	5	3	4	3	3.8	1
2	観光宣伝事業	3,110千円	7,702千円	10,812千円	4	5	3	4	4.0	5
3	公園管理事業	778千円	530千円	1,308千円	4	3	3	3	3.3	1
4	ふるさと芸能事業	5,184千円	5,360千円	10,544千円	5	3	2	2	3.0	1
5	宝の山ふれあいの里管理運営事業	6,272千円	4,726千円	10,998千円	5	4	4	3	4.0	5
6	戸沢の森和みの里管理運営事業	1,037千円	19,470千円	20,507千円	5	5	4	4	4.5	5
7	十日市場・夏狩湧水群管理運営事業	1,037千円	738千円	1,775千円	5	4	4	3	4.0	1
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		19,100千円	49,805千円	68,905千円	4.7	3.9	3.4	3.1	3.8	2.7

■一次評価結果

点　数
75.7点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
51,125千円	49,805千円	97.4%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
19,100千円	5,641千円	63,264千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：地域にヒト・モノ・カネを呼び込む観光産業の振興については、地域活性化のために外せない施策の１つであり、市民ニーズも高い。また、訪日外国人が増加している現在において、この施策を充実させていくことは必須事項である。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５	4

評価点の判断理由：効果については現在のところ、大きく表れていないものの、地域内で様々な主体による取り組みが始まりつつあり、今後事業間での相乗効果なども大いに期待できる。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５	3

評価点の判断理由：本市はこれまで観光地ではなかったため、その取り組みの過程はまだ効率的に行えているとはいいがたい。今後は取り組みを俯瞰的に見ながら、スクラップアンドビルドも考慮し、取り組んでいく。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５	4

評価点の判断理由：観光産業による経済効果は、市内一円に波及するものと捉えられ、受益者は特に限定されない。

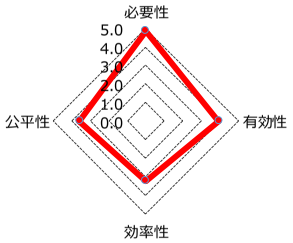
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.9	3.9	3.2	3.6

■施策評価結果

点　数	達成度
77.9点 /100点	42.9%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

観光産業に本腰を入れ始めてまだ間もない時点であるが、ゲストハウスの開業や、市と包括連携協定を締結する富士ゼロックスの「つる観光研究会」など、多くの観光に資する取り組みが始まりつつある。こうした中で、2019ラグビーワールドカップや2020オリンピック・パラリンピック開催により増加が予想される訪日外国人等をターゲットとする事業や道の駅つるを訪れた観光客を交流・観光拠点と位置づけ市内に誘客するなどの事業組立を実施していく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	宮下　洋一

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★地元の商業力向上と地場産業の支援
概要	ＣＣＲＣ関連のほか、新規企業の誘致に積極的に取り組みます。また、ものづくり企業における特徴のある製品づくりや新製品の開発、商品のＰＲ、販路の拡大などを促進するとともに、都留市の企業形態に見合った人材を育成し、地場産業活動を支援します。また、中心市街地商店街をはじめとした小規模小売店舗への集客を図るため、商工会など様々な関係団体や学生などと連携し、市民のふれあいや交流を通して魅力とまとまりのある商業地を目指し、集客イベントの開催や商業地の整備もあわせて行っていきます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	金融対策事業	778千円	9,600千円	10,378千円	4	4	4	4	4.0	1
2	商工業振興対策事業	2,022千円	1,690千円	3,712千円	4	3	4	3	3.5	1
3	産業振興対策事業	2,854千円	696千円	3,550千円	4	4	4	4	4.0	3
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		5,652千円	11,985千円	17,637千円	4.0	3.7	4.0	3.7	3.8	1.7

■一次評価結果

点　数
76.7点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
13,233千円	11,985千円	90.6%	5,652千円		17,637千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼5	5	施策として地場産業の振興は、地域経済の底支えをするために必要不可欠であり、地域の継続性を担保するためにも重要な事項である。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼4	4	市内経済の現況としては、大きな効果は顕在化していない状況である。しかし、金融対策事業では、申請件数等も増加しており、少しずつではあるものの上向きになりつつある。今後は、各種関係団体との連携による新たな取り組みを実施し、好調を促す必要がある。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼4	4	直接の支援施策ではなく、間接的な支援策のため、効果は見えにくいものの、上記のとおり少しずつ上向きとなりつつある。このため、今後は制度の周知等を含め、効果を広げていく取り組みが必要となる。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	評価点の判断理由
	▼4	4	公平性については担保できている。今後、地場産業が振興されることにより、市内にも効果が波及する。

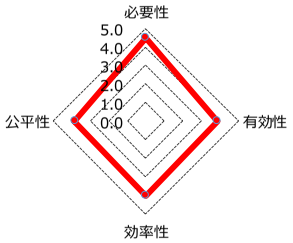
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	3.8	4.0	3.8

■施策評価結果

点　数	達成度
80.8点 /100点	16.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

地域経済を支える地場産業の経営者等に向け、広く周知を続けていく必要がある。また、商工会やその他経済団体とも連携を図り、相乗効果を狙う施策の工夫も求められる。今後は、国の新たな企業支援策や補助金等を積極的に活用していく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	宮下　洋一

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策	豊かな産業のあるまちづくり
施策	★移住促進と定住支援
概要	都内の移住相談センター等への出展や多様なメディアを活用した市の魅力の積極的な広報活動を行うことにより、「生涯活躍のまち（ＣＣＲＣ）」事業により東京圏からの移住を促進するとともに、住む場所として選ばれるために、転入者の住居確保支援や市外への長距離通勤者等の支援をはじめとした定住促進策を講じます。また、既存施設や空き家などを活用して、移住を決断するきっかけづくりに取り組み、本市で生活した意見などをフィードバックし、より移住者のニーズに沿った「生涯活躍のまち（ＣＣＲＣ）」とします。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	定住人口対策費	3,940千円	10,205千円	14,145千円	5	5	4	3	4.3	5
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		3,940千円	10,205千円	14,145千円	5.0	5.0	4.0	3.0	4.3	5.0

■一次評価結果

点　数
85.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
10,205千円	10,205千円	100.0%	3,940千円		14,145千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：5	少子高齢化・人口減少が進展する中、本施策を実施することで多世代にわたる市内への定住者を増加させることは重要である。また、人口増が地域経済に大きな影響があることからも、移住促進と定住支援を実施していくことは、大きな意味があると言える。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：4	本施策を実施してから、本市への移住希望者の問い合わせ件数も増加の傾向にあることに加え、徐々に社会減も落ち着きつつある。このため、本施策は有効であると考えられる。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：4	移住相談イベントや市内体験ツアー、お試し居住など、様々な取り組みを実施することにより、上記のように一定の成果がみえつつあり、効率的な事業実施が実現できている。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：3	移住希望者のみならず、市民の定住施策でもある。また、様々な人生経験を重ねたアクティブシニア等の転入による交流は「市民全体の豊かな暮らし」にも繋がることから、受益者は限定的ではなく、地域住民の方々と連携した施策を実施していくことで、更に公益性は高まる

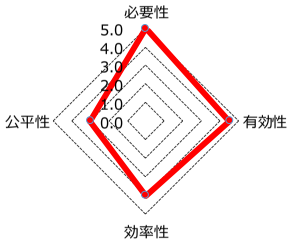
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.5	4.0	3.0

■施策評価結果

点　数	達成度
82.5点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

空家バンクへの問い合わせや、移住相談などが増えており、本市に目を向ける方々が増加している状況にある。引き続き積極的な制度周知や要綱等の見直しを行っていく中で、制度の拡充と合わせ、移住・定住者の増加につなげていく必要がある。また、旧雇用促進住宅を全面改修し、来年度オープン予定のサービス付き高齢者向け住宅の入居者確保策としても、引き続き、重点的に力を入れていく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	山口　哲央

② 快適で機能的なまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「快適で機能的なまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.7（５点満点）となり、100 点満点換算では 94.3 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 62.5%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 139,595 千円、人件費 34,141 千円、そして歳入として補助金等 40,168 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 133,568 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
効率的・効果的なインフラの維持保全	4.7	4.4	4.0	4.6	139,126	32,275	40,168	131,233	3.0
計画的な土地利用	5.0	5.0	5.0	5.0	469	1,866	0	2,335	1.0
平均・合計	4.9	4.7	4.5	4.8	139,595	34,141	40,168	133,568	2.0

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均
	4.9	4.7	4.5	4.8	4.7

100点換算
94.3点

■政策成果目標達成度

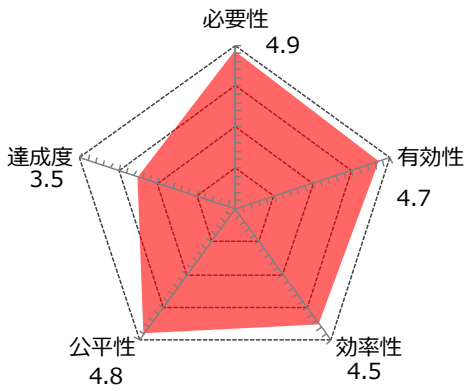
項 目	現況値	目標	実績	達成度
狭あい道路割合	64.3%	63.4%	63.03%	5.0
市道舗装率	84.5%	85.1%	85.27%	5.0
1人あたり都市公園面積	6.7㎡	6.8㎡	6.9㎡	5.0
平均・合計				5.0

達成度	平均
2.0	3.5

62.5%

■レーダーチャート

各項目の総合得点をレーダーチャート化して見ると、達成度が若干低くなっていますが、そのほかはバランスよく得点できています。インフラの整備・維持と計画的な土地利用はまちのグランドデザインを描いていく上でも基盤となるものなので、しっかりと計画の進捗管理を実施していきます。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策		快適で機能的なまちづくり
施策		効率的・効果的なインフラの維持・保全
	概要	生活に欠かせない道路橋梁の整備、改修、維持管理を通じ、産業と暮らしを支える都市基盤を整備するとともに、既存の公共施設等に関しては、公共施設等総合管理計画に基づき、ストック活用や統廃合などの方向性を勘案し、最適で効率的な活用を図ります。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	市単道路橋梁維持補修事業	7,290千円	43,778千円	51,068千円	5	4	4	4	4.3	3
2	除雪関係事業	2,090千円	14,298千円	16,388千円	5	4	4	3	4.0	3
3	都市公園管理事業	3,888千円	5,497千円	9,385千円	4	4	4	5	4.3	5
4	公営住宅施設管理費	12,051千円	38,572千円	50,623千円	4	3	4	4	3.8	1
5	財産管理関係経費	6,959千円	36,983千円	43,942千円	4	4	4	5	4.3	3
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		32,275千円	139,126千円	171,401千円	4.4	3.8	4.0	4.2	4.1	3.0

■一次評価結果

点　数
82.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
153,991千円	139,126千円	90.3%	32,275千円	40,168千円	131,233千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	インフラの維持・保全は、全ての市民に関わる社会基盤整備であり、全ての方がその恩恵を享受すべきものである。このため、施策としての必要性は非常に高いものがある。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	インフラの適切な維持・保全は、市民生活に大きな影響を与えるものであり、上位政策である「快適」「機能的」という言葉を実現するためにも非常に有効である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 ▼4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	こうしたインフラの維持・保全等については、財政状況等との兼ね合いが必要となるため、非常に判断に難しい部分もある。市が持つリソースと財政状況を踏まえ、コスト縮減を図りながら効果的に事業を実施していく必要がある。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	インフラは、必要性の項目で述べた通り、全ての市民が享受すべき社会資本の整備である。このため、十分に公平性は担保されていると判断できる。

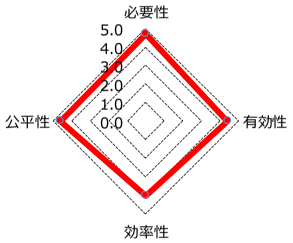
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.7	4.4	4.0	4.6

■施策評価結果

点　数	達成度
88.5点 /100点	50.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

財政状況との兼ね合いが大きな課題となる。また、現場を持つ人的リソースについても、市職員の技術力の向上を図りながら、出来る限り効率・効果的で有効な機能を持ったインフラを維持・保全していくことは今後とも引き続き継続していく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	清水　正彦

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
政策		快適で機能的なまちづくり
施策		計画的な土地利用
	概要	憩いの場である公園の整備など適正な都市基盤を整備するとともに、農用地・緑地などとのバランスのとれた良好なまちを形成し、面的な都市機能を強化します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	都市計画総務費	1,866千円	469千円	2,335千円	5	5	5	5	5.0	1
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		1,866千円	469千円	2,335千円	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	1.0

■一次評価結果

点　数
100. 点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
607千円	469千円	77.3%	1,866千円		2,335千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	土地利用を計画的に実施していくことは、市民生活の快適度を担保することに繋がる。また、後世に利用しやすい土地を引き渡す観点からも、土地利用を計画的に実施していくことは必要性が高い施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	快適で機能的なまちを創り上げていくためには、計画的な土地利用が必須である。都市計画マスタープランなどの策定を進めていくことは、非常に有効である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	土地利用の現状や、市民の意向等を参考として順次計画策定を進めていくため、多くの時間と人的資産を費やすこととなるが、必要性や有効性を鑑みると、十分費用対効果的には高いと言える取り組みである。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	土地利用は全ての市民に関わることであり、商業活動をはじめとした経済規模の拡大にもつながる施策である。このため、公平性の観点から見ても、十分担保されているものと考える。

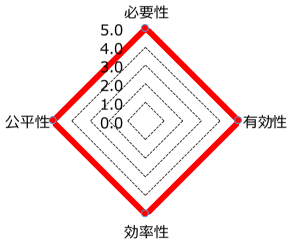
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	5.0	5.0	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
100. 点 /100点	

■評価のレーダーチャート

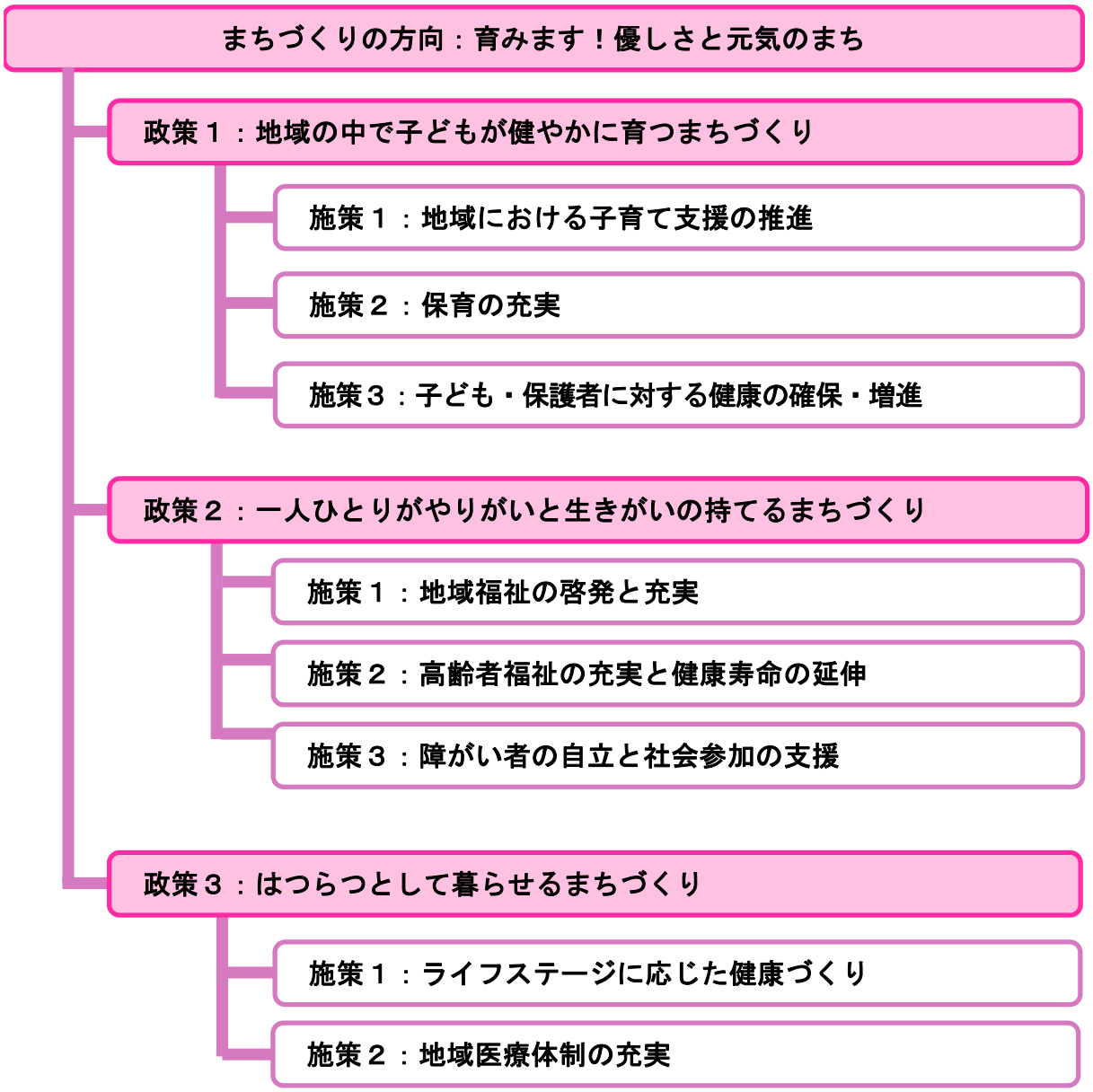


■来年度取り組みに向けた課題や所見

都市計画税がなく財源確保が難しい中、財政状況を踏まえた、特色あるまちづくりを進めていくことが課題である。
今後は、景観計画を含めた計画策定を進める。専門知識を有する業者への業務委託を行いながら、市民アンケート及び市民懇談会の成果を基に、庁内検討会及び策定委員会を実施し景観計画の策定に取組んで行く。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	清水　正彦

（２）福祉・子育て・健康分野



① 地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.1（５点満点）となり、100 点満点換算では 94.8 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 61.1%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 269,590 千円、人件費 56,249 千円、そして歳入として補助金等 52,011 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 273,828 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
地域における子育て支援の推進	4.7	4.5	4.7	4.3	193,134	26,905	50,990	169,049	3.3
保育の充実	5.0	5.0	5.0	5.0	10,878	25,781	612	36,047	4.7
子ども・保護者に対する健康の確保・増進	5.0	5.0	4.3	4.3	65,578	3,563	409	68,732	3.7
平均・合計	4.9	4.8	4.7	4.6	269,590	56,249	52,011	273,828	3.9

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	4.9	4.8	4.7	4.6	4.7	94.8点

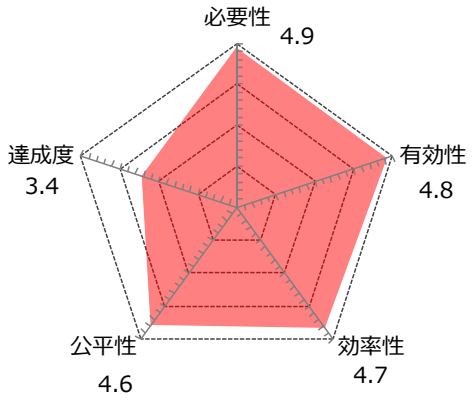
■政策成果目標達成度

項　目	現況値	目標	実績	達成度
ファミリー・サポートセンター利用者数	159人	186人	255人	5.0
保育サービスの状況についての満足度	28.3%	29.5%	32.5%	5.0
子育てが楽しいと思う人の割合	90.9%	97.0%	88.4%	1.0
合計特殊出生率	1.44	1.53	1.29	1.0
平均・合計				3.0

達成度	平均	
3.9	3.4	61.1%

■レーダーチャート

レーダーチャートで見ると、全体的にバランスが取れていますが、やはり達成度が低くなっています。特に、政策の成果目標にある「合計特殊出生率」については、目標を大きく下回りました。出生率については年々下降しており、何等かの対策を実施する必要がありますが、現時点においては特効薬的な施策は見当たらない状況です。今後とも子育て支援と並行し、少子化対策に向けて取り組んでいくこととします。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策		地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
施策		★地域における子育て支援の推進
	概要	子どもを市内で生むことができ、のびのびと育てることのできる環境を整備し、子どもの笑顔あふれるまちにします。このため、様々な子育て支援サービスを提供するとともに、市立病院での産科分娩の再開に向けた働きかけを行います。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	すこやか子育て医療費助成事業	2,592千円	118,742千円	121,334千円	5	5	5	5	5.0	5
2	子育て応援店登録事業	519千円		519千円	3	1	3	1	2.0	2
3	マタニティタクシー事業	778千円	75千円	853千円	4	4	5	4	4.3	2
4	放課後児童健全育成事業	2,229千円	45,142千円	47,371千円	5	5	4	3	4.3	5
5	母子健診・相談事業	8,327千円	25,745千円	34,072千円	5	5	5	4	4.8	1
6	家庭児童相談室設置費	556千円	1,689千円	2,245千円	5	4	5	5	4.8	5
7	結婚相談事業	2,854千円	695千円	3,549千円	4	4	4	3	3.8	4
8	青少年健全育成事業（のびのび興譲館事業等）	2,903千円	3,231千円	6,134千円	5	4	4	4	4.3	1
9	青少年健全育成事業（放課後子ども教室等補助金）	6,150千円	5,363千円	11,513千円	4	4	4	4	4.0	5
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		26,905千円	193,134千円	220,039千円	4.4	4.0	4.3	3.7	4.1	3.3

■一次評価結果

点　数
82.2点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
218,036千円	193,134千円	88.6%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
26,905千円	50,990千円	169,049千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	子育て支援施策については、市民からのニーズも高く、また、支援を手厚くすることが定住人口の増加にもつながることから重要な施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	子どもの年齢層に併せた事業展開を実施しており、市民からの評価も高い施策であるとともに、子ども達の健全育成にも大きく貢献している。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	本施策については、出産から子育ての各場面においての支援を実施しているが、適正な費用対効果が上がっており、今後も引き続き制度周知と併せて施策実施をしていく。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	各種事業を実施することは、将来を担う子どもたちを育てることにもつながるとともに、将来への投資ともなる。

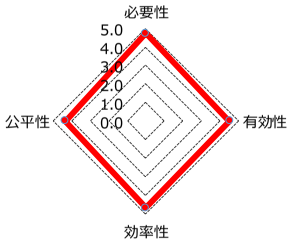
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.7	4.5	4.7	4.3

■施策評価結果

点　数	達成度
91.1点 /100点	58.3%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も継続して本施策・事業を実施していくが、子育て世帯の声をききつつ、新たな事業展開や、見直し等を逐次図っていく必要がある。また、市立病院の分娩再開も決定したため、切れ目ない子育て支援の施策を展開していく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	齊藤浩稔

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策		地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
施策		保育の充実
	概要	本市の保育環境は、入所を希望する園児のすべてを受け入れており、「待機児童ゼロ」の状態を維持しています。また、他市町村に比べ保育料を低く設定しており、保育を希望する子育て世帯の経済的負担を軽減しています。今後、少子化対策、人口増加策としてもこの方針を継続していくとともに、さらなる保育環境の充実に取り組みます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	保育所管理費	4,079千円	6,798千円	10,877千円	5	5	5	5	5.0	5
2	保育所事業費	17,175千円	3,893千円	21,068千円	5	5	5	5	5.0	5
3	特別保育事業	4,528千円	188千円	4,716千円	5	5	5	5	5.0	4
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		25,781千円	10,878千円	36,659千円	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.7

■一次評価結果

点　数
100. 点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
12,339千円	10,878千円	88.2%	25,781千円	612千円	36,047千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５ ： 5	幼児・児童の健全な育成や、共働き世帯などの支援といった意味において、保育の充実は欠かせない施策である。また、市民ニーズも高い施策であり、その重要性は高い。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５ ： 5	必要性にも記載したが、健全育成と子育て世帯の支援という観点からも、非常に有効な施策であり、上位政策「地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり」に対しての貢献度も十分高い施策だと言える。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５ ： 5	本市の保育所運営を含め、市内の保育事業全般は効率的に運用できており、各事業の達成度の高さからもその効率性は十分担保されている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５ ： 5	現状、待機児童ゼロの状況を継続しており、公平性については問題がないものと考える。また、保育所等に付随するその他保育サービスにおいてもこの点は十分担保されているものと考える。

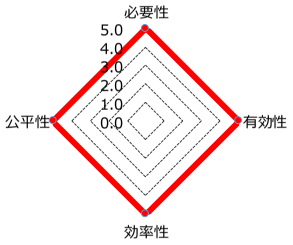
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	5.0	5.0	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
100. 点 /100点	91.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後、少子化が進むことと併せ、子育てしやすい環境整備のために、保護者負担の軽減など、検討していくべき課題は大きい。
また、幼保一元化による認定こども園の認定等についても、施策の効果と効率性を踏まえる中で検討を進めていく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
施策	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
概要	母性健康管理や妊婦に対する支援を充実させるほか、思春期から妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援体制を整備し、はつらつと子育てができる環境を整備します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	母子健康づくり事業	2,086千円	1,862千円	3,948千円	5	5	4	4	4.5	1
2	予防接種事業	1,426千円	63,683千円	65,109千円	5	5	5	5	5.0	5
3	感染症予防事業	52千円	34千円	86千円	5	5	5	5	5.0	5
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		3,563千円	65,578千円	69,141千円	5.0	5.0	4.7	4.7	4.8	3.7

■一次評価結果

点　数
96.7点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
71,486千円	65,578千円	91.7%	3,563千円	409千円	68,732千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 5	子育て情報が氾濫する中で、不安を訴える保護者が多く、正しい知識の普及と、子育て環境の支援を行うためには、公的役割は大きい。また、健康管理を進める施策として必要性も高く、今後も継続する必要がある。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 5	この施策・事業を実施することによって、本市の母子の健康は保たれている。特に予防接種事業においては、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延をある程度抑えることのできる施策として有効である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 4	事業の費用規模としては適当であると思われる。母子健康づくり事業で実施するセミナーや赤ちゃん広場などは、母子ともにコミュニケーションの場として機能しており、投資を上回る効果があるものと思われる。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 4	もちろん、対象者が母子ということもあり、一部の市民を対象とした事業ではあるものの、必要性や効果、効率性を見るに、十分に公益的施策といえる。

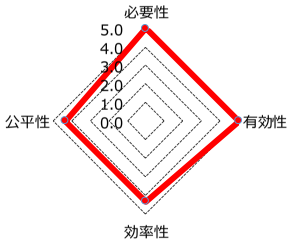
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	5.0	4.3	4.3

■施策評価結果

点　数	達成度
93.3点 /100点	66.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後は事業の取り組み内容周知を進め、参加者の確保を進めていく。また、内容の検証を実施し、事業改変も実施していくこととしたい。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	齊藤浩稔

② 一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.0（５点満点）となり、100 点満点換算では 79.7 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 53.9%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 124,481 千円、人件費 23,097 千円、そして歳入として補助金等 72,316 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 75,262 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
地域福祉の啓発と充実	4.5	4.0	3.5	3.5	31,538	8,920	15,872	24,586	3.5
高齢者福祉の充実と健康寿命の延伸	4.7	3.9	4.1	4.1	59,598	10,289	46,895	22,992	3.7
障がい者の自立と社会参加の支援	4.5	3.8	3.7	3.5	33,345	3,888	9,549	27,684	3.7
平均・合計	4.6	3.9	3.8	3.7	124,481	23,097	72,316	75,262	3.6

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	4.6	3.9	3.8	3.7	4.0	79.7点

■政策成果目標達成度

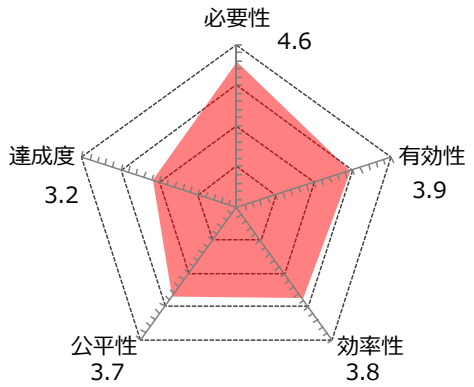
項 目	現況値	目標	実績	達成度
ボランティア活動へ参加した市民の割合	16.9%	17.6%	17.1%	2.1
高齢者在宅福祉サービスの満足度	22.7%	23.6%	28.2%	5.0
要介護者の認定率	15.0%	15.5%	15.6%	1.0
平均・合計				2.7

達成度	平均	
3.6	3.2	53.9%

■レーダーチャート

これまでの施策に比べ、それぞれバランス良く得点ができており、順調に事業進捗していることが確認できます。

この施策については、一人ひとりが地域において幸せに生活し、かつ、活躍できる環境を整備するためのものですので、今後もこれら業務には力を入れ、目標達成ができるよう努めていきます。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策		一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
施策		地域福祉の啓発と充実
	概要	高齢者をはじめとした社会的に不利な状況（立場）にある方々を含め、地域に暮らすすべての方が、できる限り地域の中で自立できるような「地域福祉」の考え方を啓発し、地域コミュニティの結束を強めます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	社会福祉関係費	1,149千円	2,336千円	3,485千円	4	4	3	3	3.5	5
2	保健福祉センター管理運営事業	7,772千円	29,203千円	36,975千円	4	4	3	3	3.5	2
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		8,920千円	31,538千円	40,458千円	4.0	4.0	3.0	3.0	3.5	3.5

■一次評価結果

点　数
70.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
32,688千円	31,538千円	96.5%	8,920千円	15,872千円	24,586千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 5	地域福祉は、全ての福祉事業の根幹を担うものであり、その必要性は非常に高い。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	全ての方が地域で居場所を見つけ、地域のために貢献し、まちづくりへとつながっていくという観点から、上位施策への貢献度は高い施策である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	地域のコミュニティ力を高めていくことが必要であり、全地域を網羅することが重要である。こうしたことから、地域ごとの民生委員や児童委員など、きめ細やかに施策展開を行っている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	一番大きな課題として、生活保護制度が挙げられるが、公平性の観点からは市民評価としてもなかなかなじまない部分があることも確かである。適切な制度運用の下、公平性を担保していく必要性がある。

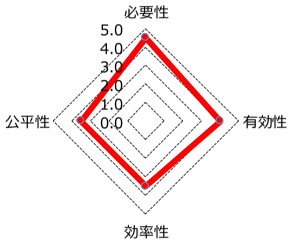
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	4.0	3.5	3.5

■施策評価結果

点　数	達成度
77.5点 /100点	62.5%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

地域福祉という考え方においては、市民一人ひとりの考え方が重要となる。今後も引き続き、地域コミュニティ形成の基礎として、地域福祉という考え方を啓発し、制度に基づく事業実施を行っていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	槇田　仁

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策		一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
施策		高齢者福祉の充実と健康寿命の延伸
	概要	高齢者の閉じこもりを防ぐとともに、地域における健康づくりの拠点として、地域住民が参加、活動、交流し、心身機能の維持・向上が実現できる高齢者の居場所づくりを推進するとともに、高齢者のライフスタイルに対応した生活支援サービス等を充実させます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	一般管理費	2,333千円	12,578千円	14,911千円	5	4	4	5	4.5	5
2	寿賀祝事業	1,296千円	2,701千円	3,997千円	4	2	4	2	3.0	5
3	老人福祉活動事業	778千円	2,265千円	3,043千円	4	4	4	4	4.0	1
4	地域福祉支援事業	571千円	3,751千円	4,322千円	3	4	4	4	3.8	5
5	任意事業費	2,333千円	13,207千円	15,540千円	5	5	5	5	5.0	5
6	一般介護予防事業費	1,296千円	10,776千円	12,072千円	5	5	5	5	5.0	5
7	在宅医療・介護連携推進事業費	648千円	483千円	1,131千円	4	4	5	4	4.3	1
8	生活支援体制整備事業費	519千円	2,835千円	3,354千円	5	3	3	4	3.8	1
9	認知症総合支援事業費	519千円	11,006千円	11,525千円	5	4	4	4	4.3	5
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		10,289千円	59,598千円	69,887千円	4.4	3.9	4.2	4.1	4.2	3.7

■一次評価結果

点　数
83.3点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
117,483千円	59,598千円	50.7%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
10,289千円	46,895千円	22,992千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	高齢化が進む現在において、高齢者福祉施策は非常にニーズの高い施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	健康寿命を延伸することで、地域の中での役割を担うことに繋がり、生きがいづくりにもなる。非常に有効な施策である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	地域が高齢化していくことは、非常に多くの課題を地域が抱えることに繋がり、効率的にすべてに対応していくことが難しい状況となる。しかしながら、市としては現状を把握し、適切な課題対応に努めていく。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	施策ターゲットの高齢者において、各状況における施策実施を行っており、公平性は担保されている。

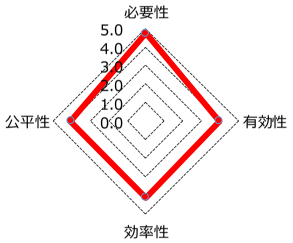
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.7	3.9	4.1	4.1

■施策評価結果

点　数	達成度
84.2点 /100点	66.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

高齢者が増加することにより、引きこもりや、近所付き合いの希薄化など、様々な課題が発生してくる。状況を把握する中で、適切な施策実施と対応を図っていきたい。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	志村佳子

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策		一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
施策		障がい者の自立と社会参加の支援
	概要	障がいを持つ方への相談窓口の充実を図るとともに、自立支援や生活支援などを行うことで、障がいを持つ方が、自らの意思で社会参加し、自立して活躍できるまちづくりを推進します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	障害福祉総務費	1,815千円	3,241千円	5,056千円	4	3	3	3	3.3	5
2	障害者等地域生活支援事業	1,296千円	29,468千円	30,764千円	5	5	4	3	4.3	5
3	重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業	778千円	637千円	1,415千円	3	3	3	3	3.0	1
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		3,888千円	33,345千円	37,233千円	4.0	3.7	3.3	3.0	3.5	3.7

■一次評価結果

点　数
70.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
38,884千円	33,345千円	85.8%	3,888千円	9,549千円	27,684千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 5	誰もが地域の中でやりがいと生きがいをもって過ごす社会のため、障がい者施策の必要性は非常に高いものがある。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 4	障がい者の社会参画を進めるため、各種事業を実施していくことは非常に有効である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 4	現在の実施事業においては、社会における障がい者の生活を担保していくことを目的としており、効率的に実施できている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ ： 4	いわゆる社会的弱者への配慮を含む公平性を担保し、事業実施が行われている。

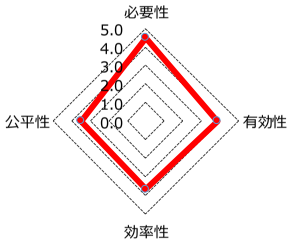
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	3.8	3.7	3.5

■施策評価結果

点　数	達成度
77.5点 /100点	66.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

障がい者の社会参画の第一歩とも言える就労部分において、まだまだ生活面等での様々な課題が生じていることもあるため、今後とも施策内容の点検と共に、引き続き事業実施を行っていく。また、今後は障がい者の高齢化への対応も含め、検討していくべき課題が山積している。こうした状況を受け止め、事業展開を図っていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	槇田　仁

③ はつらつとして暮らせるまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「はつらつとして暮らせるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.0（５点満点）となり、100 点満点換算では 90.2 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 53.1%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 777,169 千円、人件費 18,711 千円、そして歳入として補助金等 14,648 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 781,232 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
ライフステージに応じた健康づくり	5.0	4.8	4.4	3.8	45,596	4,354	1,322	48,628	3.3
地域医療体制の充実	4.9	4.4	4.3	4.6	731,573	14,357	13,326	732,604	4.4
平均・合計	5.0	4.6	4.3	4.2	777,169	18,711	14,648	781,232	3.8

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	5.0	4.6	4.3	4.2	4.5	90.2点

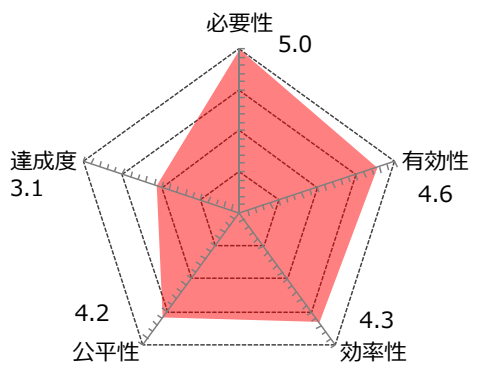
■政策成果目標達成度

項　目	現況値	目標	実績	達成度
がん検診受診率	32.3%	44.1%	31.9%	1.0
特定健康診査受診率	42.9%	54.3%	47.9%	2.8
病気予防・高齢者の健康保持状況についての満足度	31.9%	44.0%	29.6%	1.0
メタボリックシンドローム該当者割合	21.3%	23.8%	15.4%	5.0
平均・合計				2.4

達成度	平均	
3.8	3.1	53.1%

■レーダーチャート

評価得点はバランスよく獲得できていますが、達成度が低くなっています。これは、政策に位置付けた成果目標の中で、がん検診受診率、病気予防・高齢者の健康保持状況についての満足度が目標達成に及ばなかったことが原因となっています。今後も啓発活動を中心に、市民の健康増進に向けた取り組みに力を入れていく必要があります。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策		はつらつとして暮らせるまちづくり
施策		★ライフステージに応じた健康づくり
	概要	地域における介護予防や健康増進の拠点として、地域住民が参加、活動、交流し、また、専門職等を活用した心身機能の健全な維持や向上等がバランスよく実現できる身近な「居場所」（サロン・カフェなど）や、気軽に健康づくりに取り組むことができる「健康ジム」を整備し、移住者に限らず、広く市民の健康寿命延伸を図ります。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	健康教育・相談事業	1,840千円	3,151千円	4,991千円	5	4	5	5	4.8	3
2	健康診査事業	1,193千円	8,519千円	9,712千円	5	4	4	3	4.0	4
3	がん検診事業	1,115千円	33,853千円	34,968千円	5	5	5	5	5.0	1
4	献血推進事業	208千円	74千円	282千円	5	5	5	5	5.0	5
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		4,354千円	45,596千円	49,950千円	5.0	4.5	4.8	4.5	4.7	3.3

■一次評価結果

点　数
93.8点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
50,080千円	45,596千円	91.0%	4,354千円	1,322千円	48,628千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	健康診査やがん検診事業は、病気の早期発見・早期治療にむすびつけ、また健康教育・相談事業においてもライフステージに応じた健康づくりを進めるこの施策は、十分に必要性の高いものである。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	健康診査やがん検診を受診することにより死亡率の減少につなげるために大変有効であると考えられる。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼4（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：4	事業効果は上がっているものの、がん検診事業において受診率がなかなか向上しない。健康意識の向上にむけてあらゆる機会において周知を実施していく。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼3（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：3	受診者がリピーターが多く、新規受診者が少なく、限定的である部分もある。今後の啓発とともに、対象者の拡大を図っていきたい。

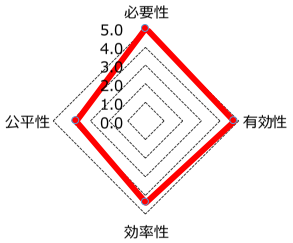
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.8	4.4	3.8

■施策評価結果

点　数	達成度
89.4点 /100点	56.3%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

事業内容やその効果については十分成果を上げているものの、健康に対する意識の向上や、事業内容の周知を引き続き実施していく必要がある。また、健康診断事業においては、どのように受診率を引き上げていくのかが大きな課題である。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	齊藤　浩稔

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
政策	はつらつとして暮らせるまちづくり
施策	地域医療体制の充実
概要	夜間や休日・祝日の診療体制の充実を図り、いつでも身近な場所で適切な医療サービスが受けられ、また、医療機関と連携して在宅医療の充実が図れるよう、体制整備に努めます。さらに、健康科学大学看護学部と連携し、市内の看護師不足の解消を図ります。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	保健衛生業務経費	1,063千円	27,299千円	28,362千円	5	5	5	5	5.0	5
2	公営企業会計システム（市立病院整備事業）	311千円	2,952千円	3,263千円	5	5	5	5	5.0	5
3	電子カルテシステム・オーダリングシステム等の運用管理（市立病院整備事業）	1,244千円	32,271千円	33,515千円	5	4	3	4	4.0	1
4	高度医療機器の利用（市立病院整備事業）	1,296千円	12,079千円	13,375千円	5	5	5	4	4.8	4
5	産科分娩の再開（市立病院整備事業）	3,888千円	214,155千円	218,043千円	5	5	5	4	4.8	5
6	部門システム（市立病院整備事業）	1,296千円	869千円	2,165千円	5	5	5	4	4.8	5
7	病院施設管理事業（市立病院整備事業）	3,888千円	389,234千円	393,122千円	5	5	4	4	4.5	5
8	老健施設管理事業（市立病院整備事業）	1,374千円	81,717千円	83,091千円	4	4	4	4	4.0	5
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		14,357千円	731,573千円	745,930千円	4.9	4.8	4.5	4.3	4.6	4.4

■一次評価結果

点　数
91.9点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
795,117千円	731,573千円	92.0%	14,357千円	13,326千円	732,604千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	健康ではつらつとした市民生活を実現するため、地域医療体制の充実は非常に必要性の高い施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	一人ひとりが健康でいることが、家族や地域に対しても大きく影響するため、地域医療体制を充実させていくことは非常に有効だと言える。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	富士・東部医療圏の東部地域において、地域医療の中心的な役割を果たすため、周辺の医療機関と連携し、効率的に医療を提供していると判断できる。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	この施策の効果はすべての市民を対象としており、各事業の取り組みを推進していくことで公平性にバラツキはない。

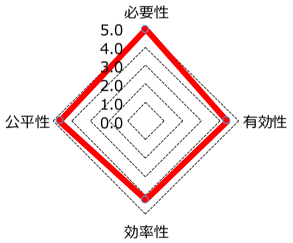
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.9	4.4	4.3	4.6

■施策評価結果

点　数	達成度
90.9点 /100点	84.4%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

施策内での大きな事柄とすれば、産科分娩の再開に向けた取り組みである。地域コミュニティの根幹を成す子どもの出生に対し、出来る限り手厚い体制づくりに向け取り組んでいく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	久保田　昌宏

（３）教育分野

- まちづくりの方向：輝かせます！学びあふれるつるのまち
  - 政策１：知の資源と連携したまちづくり
    - 施策１：大学を核とした教育施策の充実
    - 施策２：知の拠点である大学と地域の魅力づくり
  - 政策２：生きる力を育む学校教育のまちづくり
    - 施策１：魅力ある教育環境の整備
    - 施策２：家庭・地域・学校の連携
  - 政策３：地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
    - 施策１：生涯学習の推進
    - 施策２：スポーツの振興
    - 施策３：魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信

① 知の資源と連携したまちづくり

■政策評価結果

政策「知の資源と連携したまちづくり」については、各施策の下位に位置する予算事業の評価が実施対象となっておらず、政策評価が出来ない状況でした。しかしながら、政策に位置付けた成果指標についてはその達成度を測ることができるため、その結果を公表します。

成果指標の達成度については、「大学生と市民活動団体の連携事業回数」について、目標 10 回を達成し、達成度は最高評価の「５」となりました。一方で、「大学連携による教育充実度合いへの満足度」については、目標である 35.0%を下回り、25.8%で最低評価の「１」となりました。今後も市内に立地する３つの高等教育機関との連携を図り、教育首都つるに向けた取り組みを推進していきます。

■政策成果目標達成度

項 目	現況値	目標	実績	達成度
大学生と市民活動団体の連携事業回数	4回	9回	10回	5.0
大学連携による教育充実度合への満足度	27.2%	32.4%	25.8%	1.0
平均・合計				3.0

達成度	平均
	3.0

50.0%

② 生きる力を育む学校教育のまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「生きる力を育む学校教育のまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.2（５点満点）となり、100 点満点換算では 84.4 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 69.9%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 343,274 千円、人件費 40,831 千円、そして歳入として補助金等 10,119 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 373,986 千円となりました。

また、政策を構成する施策のうち、「家庭・地域・学校の連携」の下位に位置する予算事業の評価対象事業は無く、施策の評価はありません。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
魅力ある教育環境の整備	4.8	3.9	3.8	4.3	343,274	40,831	10,119	373,986	4.3
家庭・地域・学校の連携					0	0	0	0	
平均・合計	4.8	3.9	3.8	4.3	343,274	40,831	10,119	373,986	4.3

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均
	4.8	3.9	3.8	4.3	4.2

100点換算
84.4点

■政策成果目標達成度

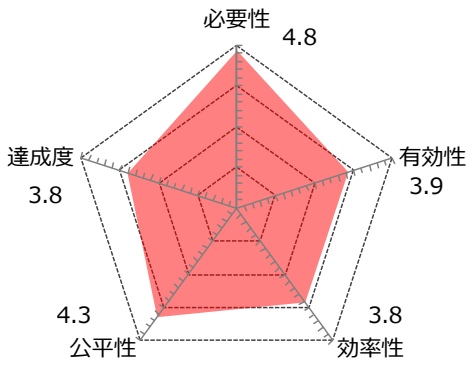
項 目	現況値	目標	実績	達成度
夢や目標をもっている児童・生徒の割合	82.2%	87.4%	83.9%	2.3
国語への興味・関心の状況	63.3%	67.8%	77.3%	5.0
算数・数学への興味・関心の状況	69.7%	73.2%	75.28%	5.0
不登校児童の割合	1.3%	1.0%	1.85%	1.0
平均・合計				3.3

達成度	平均
4.3	3.8

69.9%

■レーダーチャート

全体的にバランスよく得点できています。また、義務教育にかかる施策のため、必要性の得点が特に高くなっています政策の成果目標については、不登校児童の目標達成がかなわなかったことがありますが、今後とも様々な課題に対応しながら、学びやすい環境整備のため取り組んでいきます。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	生きる力を育む学校教育のまちづくり
施策	★魅力ある教育環境の整備
概要	都留文科大学と小中学校、そして地域の連携を強め、魅力ある教育環境を整備するとともに、国際性豊かでグローバルな視野を持ち、その能力を地元に還元できるような「グローカル人材」の育成を目指し、特色ある教育を推進します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	学校教育事業	260千円	36,247千円	36,507千円	3	3	2	4	3.0	5
2	教育研修センター事業	9,168千円	5,916千円	15,084千円	4	4	4	3	3.8	5
3	学生アシスタント・ティーチャー事業	830千円	1,903千円	2,733千円	5	5	5	2	4.3	5
4	教員住宅管理事業	1,555千円	904千円	2,459千円	4	3	4	3	3.5	4
5	教育課程特例校推進事業	260千円	4,700千円	4,960千円	5	4	4	1	3.5	4
6	外国語指導者招致事業	1,815千円	12,032千円	13,847千円	5	5	5	4	4.8	1
7	学力向上フォローアップ事業	389千円	1,942千円	2,331千円	5	2	2	1	2.5	5
8	学校運営協議会設置推進事業	260千円	203千円	463千円	5	3	3	5	4.0	1
9	小学校管理事業	2,333千円	92,213千円	94,546千円	5	3	3	5	4.0	5
10	小学校教育振興事業	2,592千円	10,823千円	13,415千円	5	5	4	5	4.8	5
11	中学校管理事業	1,555千円	79,633千円	81,188千円	5	3	3	5	4.0	5
12	中学校教育振興事業	2,592千円	24,793千円	27,385千円	5	5	4	5	4.8	5
13	学校給食運営事業	17,229千円	71,659千円	88,888千円	5	4	5	4	4.5	5
14										
合計・平均		40,831千円	343,274千円	384,105千円	4.7	3.8	3.7	3.6	3.9	4.3

■一次評価結果

点　数
78.8点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
407,484千円	343,274千円	84.2%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
40,831千円	10,119千円	373,986千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	教育環境を充実させ、特色ある学校教育を実現することは、未来への投資という観点からも必要であり、まちの質・魅力を向上させることともなる取り組みである。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：4	学校の特色づくりなどには英語特区制度など、一定の効果が発現していることが認められるものの、学校単位で個別の課題を抱えており、なかなか効果を発揮しにくい状況にある場合も見られる。問題点と課題点を明らかとし、違う角度からのアプローチ等で今後事業を推進していく必要がある。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：4	各校ともに状況が違うため、画一的な事業実施は適わない状況がある。こうしたことから、効率的な事業実施ができているかの検証は難しい。しかしながら、一定の効果が上がっていることもあり、今後は施策の手法検証等を行いながら事業実施を進めていくこととする。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	学校教育は公平・公正に実施されるものであり、施策として公平性は担保されている。

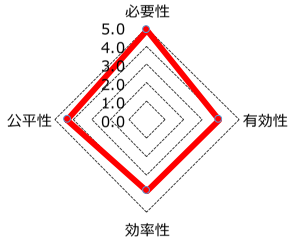
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.8	3.9	3.8	4.3

■施策評価結果

点　数	達成度
84.4点 /100点	81.6%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後とも、学校教育の柱でもある学力向上と、人間力育成に焦点をあて、検証等を繰り返しながら事業を実施していく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	清水　敬

③ 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.1（５点満点）となり、100 点満点換算では 82.8 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 62.6%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 223,954 千円、人件費 77,324 千円、そして歳入として補助金等 35,474 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 265,804 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
生涯学習の推進	4.5	4.5	4.3	3.5	671	4,771	297	5,145	4.0
スポーツの振興	4.6	4.0	3.9	4.1	83,714	13,473	28,040	69,147	3.7
魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信	4.7	4.4	3.7	3.5	139,569	59,080	7,137	191,512	2.3
平均・合計	4.6	4.3	4.0	3.7	223,954	77,324	35,474	265,804	3.3

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	4.6	4.3	4.0	3.7	4.1	82.8点

■政策成果目標達成度

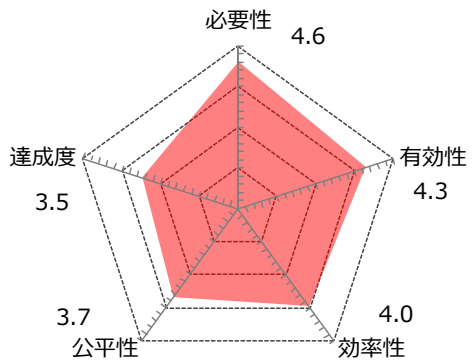
項　目	現況値	目標	実績	達成度
まちづくり交流センター年間稼働率	44.1%	48.0%	48.5%	5.0
歴史文化施設入館者数	12,125人	14,042人	15,200人	5.0
利用1件あたりのスポーツ施設利用者数	26.6人	28.9人	26.人	1.0
平均・合計				3.7

達成度	平均
3.3	3.5

62.2%

■レーダーチャート

公平性及び達成度が若干低くなっています。生涯学習については、広く誰もが学ぶことのできる環境づくりを進めていますが、昨今は各種講座等の参加者の高齢化・固定化が進んでおり、公平性について担保しにくい状況になりつつあります。現在、こうした問題を解決するための仕組みづくりに取り組み、講座情報等を一元化して誰もが情報を得られるための環境づくりなどに努めています。また、達成度の向上についても、各種取組を通じて向上させていくよう努めます。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
施策	生涯学習の推進
概要	生涯学習ニーズを的確に把握し、市民ニーズや社会的課題に対応するため、ソフト事業と生涯学習施設を充実させるとともに、学ぶだけではなく、講師となり、得た知識を還元していく仕組みについても整備します。また、市民を主体とした生涯学習組織の立ち上げも視野に入れながら、既存ストックの活用なども含め、生涯学習を振興します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	生涯学習推進事業	2,333千円	100千円	2,433千円	4	4	5	5	4.5	5
2	はつらつ鶴寿大学事業	2,438千円	571千円	3,009千円	4	4	4	3	3.8	3
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		4,771千円	671千円	5,442千円	4.0	4.0	4.5	4.0	4.1	4.0

■一次評価結果

点　数
82.5点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
1,084千円	671千円	61.9%	4,771千円	297千円	5,145千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	生きがいづくりやまちの魅力を向上させるための施策として、生涯学習の推進は非常に必要性が高い施策である。また、こうした生涯にわたる学習機会の提供は、市民ニーズも高く、今後も引き続き注力していく必要がある。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	本市は他市町村より「文教都市」としての評価を受けている状況であり、こうした中で生涯学習のまちづくりを推し進めていくことは非常に有効である。また、現在市が推進する「生涯活躍のまち」の中においても重要なソフト事業群として組み込まれており、有効性は高いと言

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼4（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：4	講座情報やサークル情報など、情報発信の面で効率的でない部分は見受けられる。今後は情報発信の一元化など、誰もがいつでも学習の機会に触れられるような体制づくりを進めていく。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか負担は適当か総合的に判断	▼3（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：3	継続的に実施している事業などでは、参加者の固定化が見られる部分もある。上記の情報一元化と併せ、多くの方がその効果を享受できるような環境づくりに努めていく。

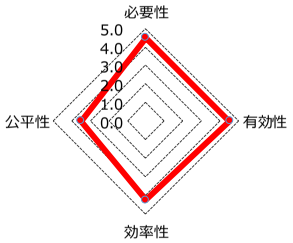
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	4.5	4.3	3.5

■施策評価結果

点　数	達成度
83.8点 /100点	75.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

大学等の連携も含め、多種多様な学びの機会を提供していく。また、アンケートによるニーズ調査なども行い、新たな施策展開の資料としていく予定である。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	紫村聡仁

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策		地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
施策		スポーツの振興
	概要	健康的な身体を維持するため、競技スポーツの振興から、多くの方が参加できる軽スポーツの振興まで、幅広い事業を行いながら健康づくりを支援し、心身ともに充実した暮らしのできる環境を整備します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	体育スポーツ振興事業	2,694千円	974千円	3,668千円	4	3	3	5	3.8	5
2	体育スポーツ奨励事業	3,522千円	14,930千円	18,452千円	5	5	4	4	4.5	5
3	野球場管理運営事業	1,923千円	4,914千円	6,837千円	4	4	4	4	4.0	1
4	体育館管理運営事業	1,606千円	13,363千円	14,969千円	4	4	4	4	4.0	1
5	各体育施設管理運営事業	1,865千円	11,967千円	13,832千円	4	4	4	4	4.0	5
6	やまびこ競技場管理運営事業	1,865千円	37,569千円	39,434千円	4	4	4	4	4.0	5
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		13,473千円	83,714千円	97,187千円	4.2	4.0	3.8	4.2	4.0	3.7

■一次評価結果

点　数
80.8点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
91,201千円	83,714千円	91.8%	13,473千円	28,040千円	69,147千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	健康で活力ある生活を送るため、健康づくりの礎となるスポーツの振興は非常に重要である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼4（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：4	各種スポーツを振興し、競技人口を増加させることにより、地域の活力につながるとともに、一人ひとりの健康増進にもつながる。こうしたことから、有効性は高い。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼4（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：4	各種競技を実施する場所としてのスポーツ施設は充実しており、いつでも、どこでも、誰もがスポーツに関わる環境づくりが整備されている。このため、各施策ともに効率的に実施されている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼4（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：4	体育館やグラウンドなども一律に貸し出しを行い、また、スポーツ教室等の開催も広報誌やホームページで随時周知されている。こうしたことから、公平性についても十分担保されているものと思われる。

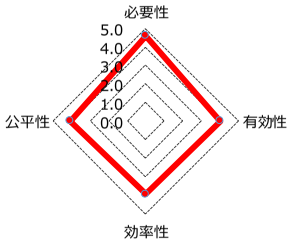
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.6	4.0	3.9	4.1

■施策評価結果

点　数	達成度
82.9点 /100点	66.7%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

施設の老朽化に伴い、修繕費や更新費がかかる時期に来ている。財政状況と照らし合わせながら、効率的かつ、市民に不便をかけることの無いよう、施設の維持・保全を実施していく。また、軽スポーツなど、スポーツの意義を啓発し、市民の健康増進を図っていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	紫村聡仁

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
政策	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
施策	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
概要	郷土に伝わる歴史文化的芸能を伝承し、都留市ならではの資源（仮称：都留遺産）として保存します。また、実施団体との連携を密に行い、市民が積極的にイベントの運営に携わることができる体制を確立しながら、人々のふれあいによる地域社会の活性化と市民自ら楽しめ

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	増田誠大賞公募展開催事業	2,555千円	195千円	2,750千円	3	4	4	4	3.8	1
2	芭蕉の里づくり事業	5,052千円	2,630千円	7,682千円	3	5	4	4	4.0	4
3	文化財保護事業	1,457千円	2,626千円	4,083千円	5	5	5	5	5.0	5
4	尾県郷土資料館運営事業	1,198千円	1,360千円	2,558千円	5	5	5	5	5.0	1
5	商家資料館運営事業	648千円	1,884千円	2,532千円	5	4	3	4	4.0	5
6	八朔祭屋台展示庫事業	260千円	1,780千円	2,040千円	4	5	4	1	3.5	5
7	都の杜うぐいすホール管理運営事業	908千円	88,449千円	89,357千円	5	5	5	5	5.0	1
8	都の杜うぐいすホール事業費補助事業	260千円	4,949千円	5,209千円	4	5	5	4	4.5	1
9	ミュージアム都留管理運営事業	7,471千円	16,956千円	24,427千円	5	5	4	5	4.8	1
10	ミュージアム都留企画展等開催事業	8,621千円	2,679千円	11,300千円	4	5	4	1	3.5	1
11	子ども読書活動支援事業	5,473千円	409千円	5,882千円	5	5	5	5	5.0	1
12	図書館運営事業	25,183千円	15,658千円	40,841千円	5	5	5	5	5.0	1
13										
14										
合計・平均		59,080千円	139,569千円	198,649千円	4.4	4.8	4.4	4.0	4.4	2.3

■一次評価結果

点　数
88.3点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
172,048千円	139,569千円	81.1%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
59,080千円	7,137千円	191,512千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：歴史・文化の保護等を進めることは、地域住民の生活の根底にあるバックボーンを支えることとなると同時に、貴重な観光資源を掘り起こす事にもつながるため、必要性の高い施策であると言える。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 １～５	4

評価点の判断理由：文化財等の保護などは、なかなか効果が見えにくい面もあるが、本市においては「歴史・文化のまち」という地域イメージが定着していることから、その施策の有効性は高いものと考えられる。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 １～５	3

評価点の判断理由：歴史を感じさせる文化遺産が多く残されていることもあり、資料館等の評価は高いものがある。しかしながら、一部事業では、コストに対して市民の参加（入館）者等が少ない事業があり、これらを改善していくことが今後の課題となっている。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い）	５段階評価 １～５	3

評価点の判断理由：上記のとおり、一部事業では参加（入館）者等が少なく、同じ市民が実施事業の恩恵を繰り返し享受しているということもあるため、今後は広く事業の内容と意義を周知し、公益性を高めていく工夫が必要となる。

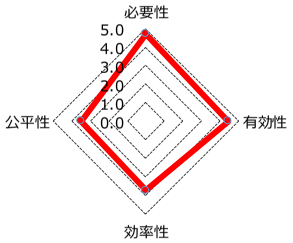
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.7	4.4	3.7	3.5

■施策評価結果

点　数	達成度
81.7点 /100点	31.3%

■評価のレーダーチャート

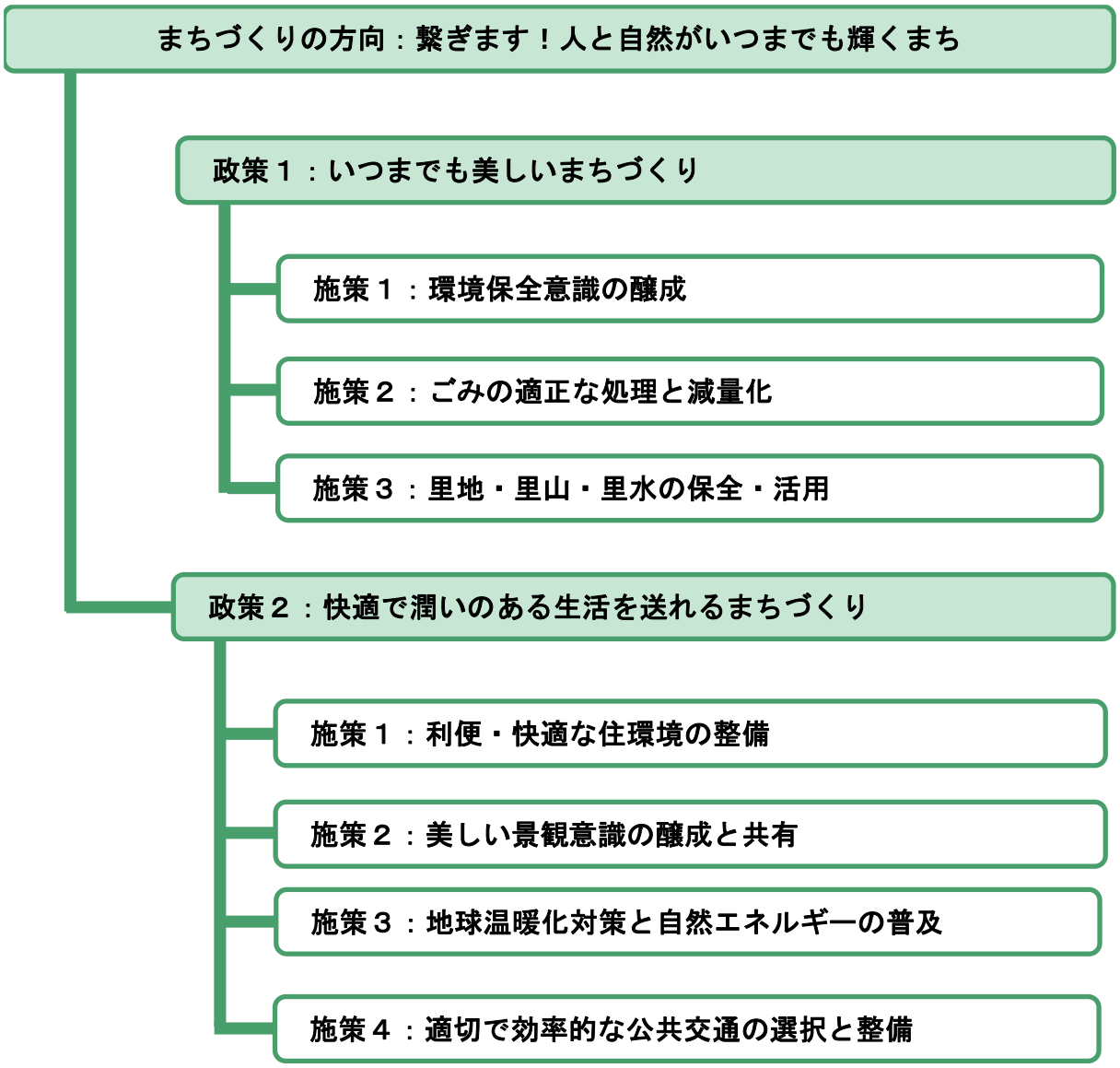


■来年度取り組みに向けた課題や所見

歴史・文化は、地域に暮らす市民にとってのよりどころとなるべきものであるが、今後どのように市民の興味を引き付け、事業内容を周知し、多くの方に参加・来訪してもらえるかが大きな課題となる。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	紫村聡仁

（４）生活・環境分野



① いつまでも美しいまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「いつまでも美しいまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.3（５点満点）となり、100 点満点換算では 86.7 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 50.0%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 45,047 千円、人件費 12,953 千円、そして歳入として補助金等 18,849 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 39,151 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
環境保全意識の醸成	5.0	4.0	4.0	4.5	951	5,048	0	5,999	5.0
ごみの適正な処理と減量化	5.0	4.5	4.0	4.0	15,452	1,944	0	17,396	5.0
里地・里山・里水の保全・活用	5.0	5.0	4.0	3.0	28,644	5,961	18,849	15,756	5.0
平均・合計	5.0	4.5	4.0	3.8	45,047	12,953	18,849	39,151	5.0

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	5.0	4.5	4.0	3.8	4.3	86.7点

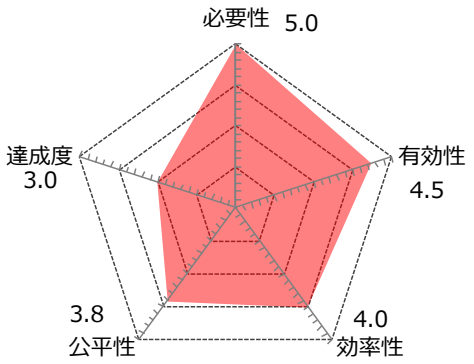
■政策成果目標達成度

項 目	現況値	目標	実績	達成度
市民一人あたりのゴミの排出量	977g	974g	987g	1.0
リサイクル率	10.2%	10.7%	7.7%	1.0
生活排水クリーン処理率	47.0%	50.3%	39.3%	1.0
平均・合計				1.0

達成度	平均	
5.0	3.0	50.0%

■レーダーチャート

レーダーチャートで見ると、達成度が 3.0 と低くなっています。これは、予算事業の評価の達成度はクリアしたのですが、政策に設定した成果目標が達成できていなかったことによります。一人当たりのゴミ排出量低減と、リサイクル率の低さが影響しています。今後は、施策にある「環境保全意識の醸成」によって、市民への啓発活動を継続的に進め、目標達成ができるよう努めていく必要があります。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策		快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策		環境保全意識の醸成
	概要	市民との協働や学校教育を通じ、さまざまな啓発活動などを行うことにより、美しいまちをつくる市民意識の醸成に努めます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	環境政策事業	5,048千円	951千円	5,999千円	5	4	4	4	4.3	5
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		5,048千円	951千円	5,999千円	5.0	4.0	4.0	4.0	4.3	5.0

■一次評価結果

点　数
85.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
1,482千円	951千円	64.2%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
5,048千円		5,999千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ 5	環境保全意識を醸成することは、現在の環境を次世代に引き継ぐための現代のわれわれの役割として、非常に重要性の高いものである。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ 4	CATVの活用や環境教育イベントを開始したものの、まだ認知度が低く、現状では大きな効果は得られていない。しかし、潤いのある生活を送るための手段として、本施策は非常に有効であるため、今後は事業の周知を図り、事業の定着を目指す。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ 4	環境保全意識は全ての市民に理解していただく必要がある。しかしながら、幼児期から高齢期までの様々なライフステージにおける啓発事業は、多種多様な展開をしなければならない。今後はそれの多様なニーズに合わせた事業展開を企画、実施していく。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５ 5	この施策の目的は、広く一般に環境保全意識を普及・定着させることであり、こうした点から公平性は担保できていると言える。

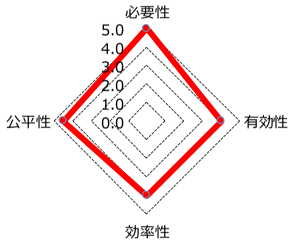
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.0	4.0	4.5

■施策評価結果

点　数	達成度
87.5点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も機会を捉え、ライフステージに応じた様々な事業実施によって環境保全意識の醸成に努めていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策		快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策		ごみの適正な処理と減量化
	概要	ごみの減量・再使用・再生利用への市民の関心を高めるための様々な取組をとおして、ごみのリサイクルを推進します。また、市民が排出するごみの収集や、事業者などに対する廃棄物の適正処理の徹底や不法投棄防止のための取組を強化します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	清掃事業	1,944千円	15,452千円	17,396千円	5	5	4	4	4.5	5
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		1,944千円	15,452千円	17,396千円	5.0	5.0	4.0	4.0	4.5	5.0

■一次評価結果

点　数
90.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
15,990千円	15,452千円	96.6%	1,944千円		17,396千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	生活環境の基礎として、ゴミの適正な処理とその減量化は非常にニーズの高い施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	この施策を実施することにより、環境保全意識の醸成にもつながるとともに、上位の政策にも大きく関与することとなる。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	適正な規模や適正な費用で実施されている。今後は近隣市町村と連携する中で、ゴミの処理については更なる効率化を図る予定となっている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	受益者負担として、ゴミ袋の有料化などを実施している。すべての市民の生活に関わることであり、今後も公平性の担保を徹底していく。

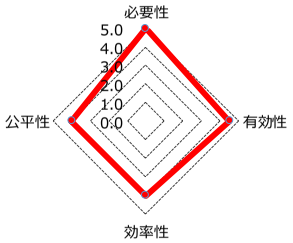
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.5	4.0	4.0

■施策評価結果

点　数	達成度
87.5点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後、ゴミの焼却場の更新時期に合わせ、広域連携を視野にいれた体制づくりを検討している。非常に大規模な事業となるが、様々な面で検証を行い、事業推進をしていくこととする。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策	里地・里山・里水の保全・活用
概要	「里地・里山・里水」といった、本市の特長ともいえる自然資源の持続的な保全と発展的な活用を図るため、市民やＮＰＯなど、様々な主体と連携を図り、各種事業を展開します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	合併処理浄化槽設置費補助事業	5,961千円	28,644千円	34,605千円	5	5	4	3	4.3	5
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		5,961千円	28,644千円	34,605千円	5.0	5.0	4.0	3.0	4.3	5.0

■一次評価結果

点　数
85.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
29,368千円	28,644千円	97.5%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
5,961千円	18,849千円	15,756千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	先人の残してくれた現在の環境を次代の子どもたちに引き継ぐことは、非常に重要である。また、本市の大きな特長である「水」を守ることについても、非常に意義ある取り組みであると考える。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：5	水質の保全や里山の環境保全など、現在の地域資源を守る取り組みとして、本施策は非常に有効である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼4（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：4	現在は実施事業数が少ないため、多面的に実施ができていないが、今後、里地・里山・里水の保全に向け、各種取り組みを実施していく。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼3（1 2 3 4 5　低い　高い） ５段階評価 １～５：3	現状における施策事業では、合併浄化槽の設置補助のみであり、一部の整備する方のみが対象となっている。今後は施策全体を多面的に支える取り組みを実施していく。

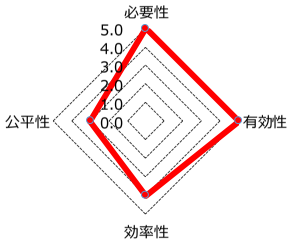
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	5.0	4.0	3.0

■施策評価結果

点　数	達成度
85.点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

事業実施により、河川の水質は向上したことが水質検査からもうかがえる。また、里地や里山の保全は土地の利活用や景観施策等とも関連があるため、連携しながら推進をしていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

② 快適で潤いのある生活を送れるまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「快適で潤いのある生活を送れるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.4（５点満点）となり、100 点満点換算では 87.3 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 37.6%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 70,806 千円、人件費 18,199 千円、そして歳入として補助金等 37,970 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 51,035 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
利便・快適な住環境の整備	4.9	4.2	4.6	4.4	45,565	15,845	37,970	23,440	3.2
美しい景観意識の醸成と共有	5.0	5.0	5.0	4.5	1,228	389	0	1,617	1.0
地球温暖化対策と自然エネルギーの普及	4.5	3.8	3.3	4.3	4,238	410	0	4,648	3.0
適切で効率的な公共交通の選択と整備	5.0	4.0	3.5	4.0	19,775	1,555	0	21,330	5.0
平均・合計	4.9	4.2	4.1	4.3	70,806	18,199	37,970	51,035	3.1

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	4.9	4.2	4.1	4.3	4.4	87.3点

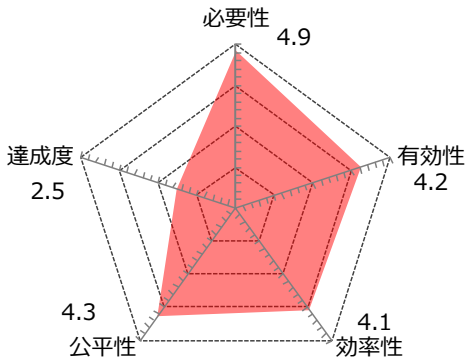
■政策成果目標達成度

項 目	現況値	目標	実績	達成度
空家活用率	0.0%	6.7%	4.8%	3.9
公共交通の利用しやすさ満足度	11.6%	20.5%	10.2%	1.0
自然エネルギーの普及促進への満足度	25.3%	27.1%	16.4%	1.0
平均・合計				2.0

達成度	平均	
3.1	2.5	37.6%

■レーダーチャート

目標の達成がほとんどの項目でできず、達成度が 2.5 点と低くなりました。特に政策に設定した成果目標の達成度が３項目で 1.0 点となっており、満足度の低下が目につきます。今後施策を実施していく中で、成果を挙げていくことはもちろんのこと、事業内容・成果の積極的な情報提供等を実施し、満足度の高い施策実施をしていくことが必要です。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策		快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策		★利便・快適な住環境の整備
	概要	すべての人にやさしいまちを目指し、生活基盤のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進めるとともに、景観等を整備するための条例化を進め、快適な生活環境の実現を進めます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	施設管理費	1,296千円	4,418千円	5,714千円	5	4	3	3	3.8	1
2	施設管理費	6,220千円	32,300千円	38,520千円	5	3	4	5	4.3	5
3	施設指導費	234千円	1,252千円	1,486千円	5	1	5	2	3.3	5
4	環境保全対策事業	2,592千円	6,241千円	8,833千円	4	4	4	4	4.0	1
5	空家等対策推進事業	5,505千円	1,355千円	6,860千円	5	5	5	5	5.0	4
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		15,845千円	45,565千円	61,410千円	4.8	3.4	4.2	3.8	4.1	3.2

■一次評価結果

点　数
81.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
51,996千円	45,565千円	87.6%	15,845千円	37,970千円	23,440千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	快適な住環境の整備を実施していくことについては、市民満足度を向上させるとともに、市の魅力向上に資することとなる。施策の必要性としては十分高いものと考えられる。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	ごみ対策等については、十分にその有効性が認められている。また、空家対策等は始まったばかりであるものの、市民の空家問題意識は年々高まっており、今後その成果が見込まれる。事業内容としては十分市民の生活環境を保全するために必要なものであり、その有効性は高い。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	実施事業の内容においては、十分効率的に実施ができている。今後、この施策に付随して実施する事業等が出てきた場合においても、その内容を十分に検討し、効率的な実施・運用ができるように取り組む。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼5（1 2 3 4 5／低い 高い） ５段階評価 １～５：5	住環境の整備は、公益性の高い施策であり、事業レベルにおいても同様である。

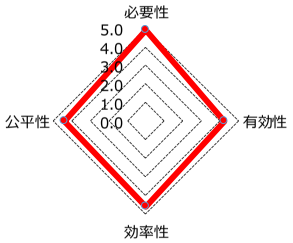
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.9	4.2	4.6	4.4

■施策評価結果

点　数	達成度
90.5点 /100点	55.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

住みよいまちづくりのために、住環境整備は今後とも引き続き実施していく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策		快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策		美しい景観意識の醸成と共有
	概要	豊かな自然環境と、城下町という由緒ある歴史文化が調和した景観を創造するための市民意識を醸成し、共有することで、住むことに誇りの持てる住環境を創出します。また、こうした景観を保全するための条例等を整備し、質の高い生活環境の実現に繋げていきます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	定式関係事業	389千円	1,228千円	1,617千円	5	5	5	4	4.8	1
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		389千円	1,228千円	1,617千円	5.0	5.0	5.0	4.0	4.8	1.0

■一次評価結果

点　数
95.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
1,246千円	1,228千円	98.6%	389千円		1,617千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	美しい環境を整備し、次世代へとつなげていくことは、市民全体の責務であるとともに、全世代から引き継いだ役割とも言え、この施策の必要性は非常に高い。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	評価事業である定式関連事業についていえば、河川を市民の手自ら清掃し、水辺の美しさを保全するための施策として非常に有効な施策であり、また、今後の景観関連施策を展開する上でも、定式関連事業を通じて美しい景観意識を醸成することに繋がり、非常に有効である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	定式関連事業では、市民が一斉に全市的に実施する事業であり、その効率性は高い。また、市民協働の観点からも非常に効果の高い施策である。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	美しい景観を市民自ら創り上げるという意識醸成は、全ての市民が恩恵を享受することである。こうしたことから、公平性についても十分担保されている。

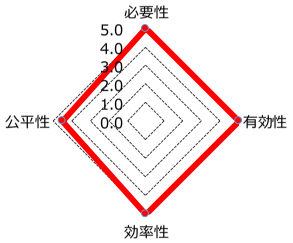
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	5.0	5.0	4.5

■施策評価結果

点　数	達成度
97.5点 /100点	

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後は良好な景観についてのルール作りや、具体的手法についてのロードマップとしての計画策定など、様々な手法で景観関連施策を充実させていくこととする。
年々水路に甲蓋がされて、全体的に土砂の浚渫が困難になっており、参加する自治体が減少の傾向にあるので検討が必要である。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	清水　正彦

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策		快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策		地球温暖化対策と自然エネルギーの普及
	概要	地球温暖化対策のため、太陽光発電や小水力発電など、環境負荷を軽減させるクリーンエネルギーを普及させるとともに、省資源・省エネルギー意識を啓発し、持続可能な地域づくりを推進します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	家中川小水力市民発電所管理運営事業	156千円	1,358千円	1,514千円	5	4	3	5	4.3	1
2	自然エネルギー推進事業	254千円	2,880千円	3,134千円	3	3	4	4	3.5	5
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		410千円	4,238千円	4,648千円	4.0	3.5	3.5	4.5	3.9	3.0

■一次評価結果

点　数
77.5点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
5,359千円	4,238千円	79.1%	410千円		4,648千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 5	地球温暖化防止と環境保全のため、自然エネルギーの普及や省エネルギーなどを推し進めることは必然であり、市民ニーズも高いものがある。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	地域の環境負荷軽減を図るため、自然エネルギーの活用による地球温暖化防止活動を推進することは、持続可能なまちづくりの実現に貢献度の高い事業である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 3	自然エネルギー施策を推し進めるためには、市が所有する発電設備の維持管理のみならず、各家庭における自然エネルギー施設や省エネルギー機器の整備が必要となるため、費用対効果は長期的に見ていかなければならない。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	普及後の効果については、広く波及するものであり、公平性は担保されるものと考える。

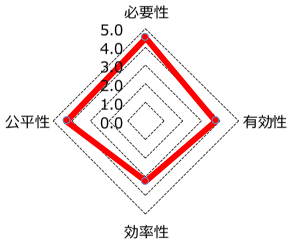
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	3.8	3.3	4.3

■施策評価結果

点　数	達成度
78.8点 /100点	50.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

再生可能エネルギーの固定価格買取制度の見直し等により、国における自然エネルギー発電施設普及の方向性が変わりつつある。また、ＳＤＧｓの策定や気候変動適応法の施行により、今後は新たな課題への取り組みが必要となってくることが予測される。そのため、本市が目標とする持続可能な地域づくりの推進のためには、今後も国の施策と連動した継続的な事業実施を行っていく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
政策		快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
施策		★適切で効率的な公共交通の選択と整備
	概要	利便性の高い暮らしの実現に向けた、公共交通の充実を図ります。また、この過程において規制の枠に捉われない新たな仕組みや仕掛けについても検討し、持続可能な公共交通を目指します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	地域公共交通対策費	1,555千円	19,775千円	21,330千円	5	4	4	4	4.3	5
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		1,555千円	19,775千円	21,330千円	5.0	4.0	4.0	4.0	4.3	5.0

■一次評価結果

点　数
85.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
20,351千円	19,775千円	97.2%	1,555千円		21,330千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：5	本施策は、生活の利便性を高めるものであり、現在のように高齢化が進む中では、高齢者の移動手段の確保という意味においても大変重要な施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	車を持たない方々に対し、地域内の移動手段を確保していくという観点において、有効性については十分に確保されている。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：3	未だ利用率の低い公共交通路線等もあるため、効率的な事業実施に至らない部分もある。路線の見直しや普及の策など、今後も引き続き検討を重ねていく必要がある。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	全市民が利用できるよう、移動手段を確保する施策であるため、公益性の高い施策である。

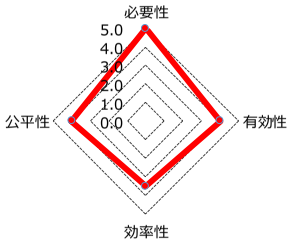
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.0	3.5	4.0

■施策評価結果

点　数	達成度
82.5点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート

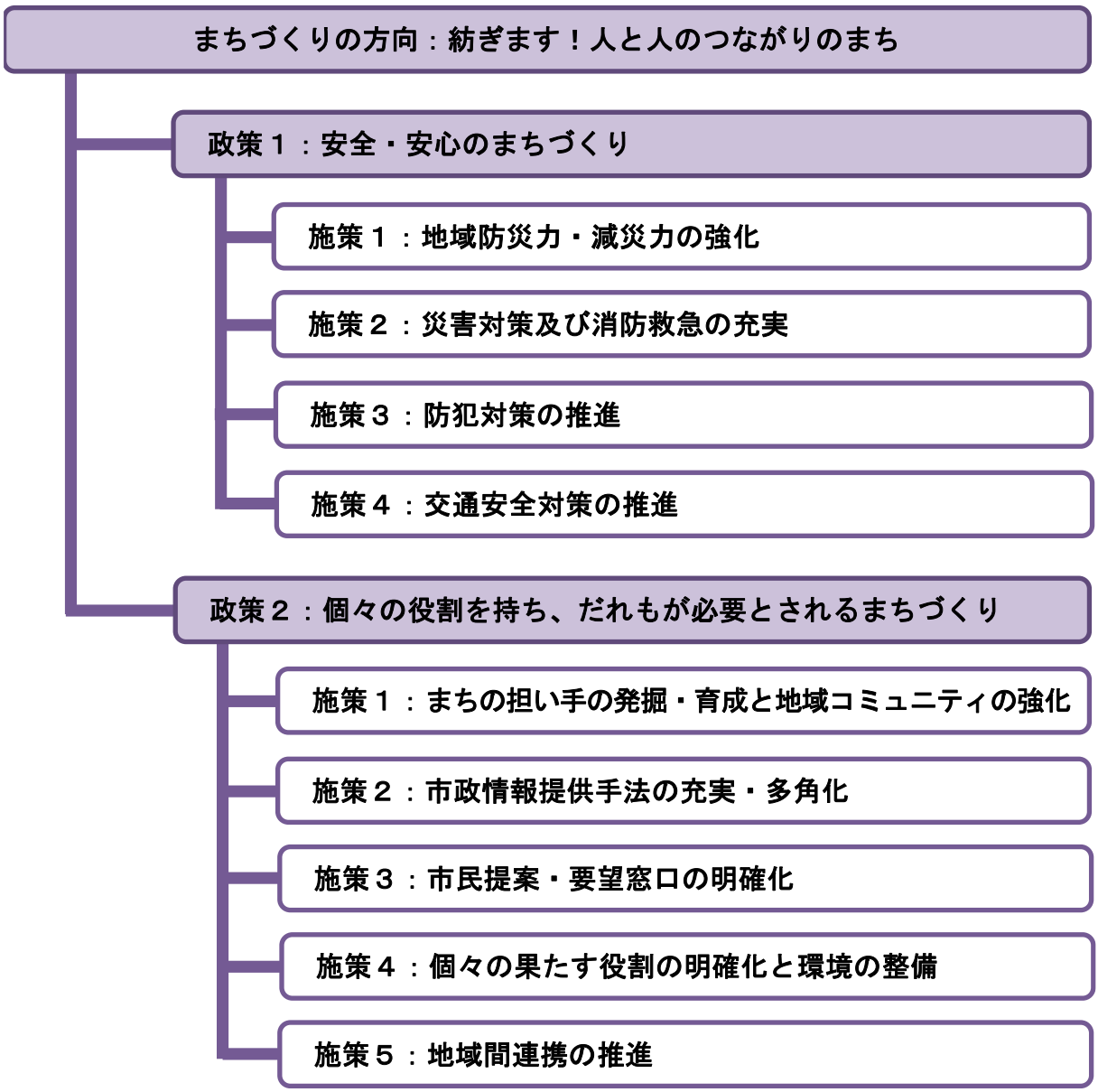


■来年度取り組みに向けた課題や所見

利用率向上のため、公共交通利用の仕組みやその利便性の高さなど、今後の引き続き周知を継続していく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

（５）安全・安心、コミュニティ分野



① 安全・安心のまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「安全・安心のまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.7（５点満点）となり、100 点満点換算では 94.0 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 36.6%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 56,966 千円、人件費 35,677 千円、そして歳入として補助金等 640 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 92,003 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
地域防災力・減災力の強化	4.8	4.8	4.3	4.7	36,724	24,231	0	60,955	3.0
災害対策及び消防救急の充実	5.0	4.8	5.0	4.3	12,659	2,151	0	14,810	3.0
防犯対策の推進	5.0	4.0	4.5	4.5	571	1,815	0	2,386	1.0
交通安全対策の推進	5.0	4.8	4.8	5.0	7,012	7,480	640	13,852	5.0
平均・合計	5.0	4.6	4.6	4.6	56,966	35,677	640	92,003	3.0

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	5.0	4.6	4.6	4.6	4.7	94.0点

■政策成果目標達成度

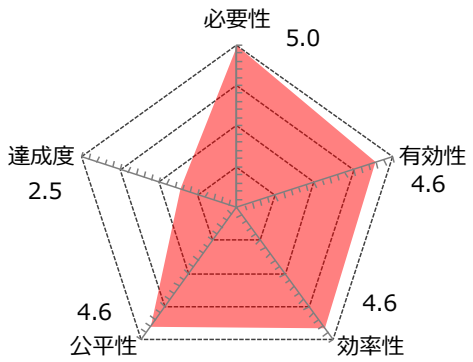
項　目	現況値	目標	実績	達成度
防犯体制への支援に対する満足度	25.6%	35.2%	16.2%	1.0
交通事故発生件数	34.2件	31.4件	32.9件	2.9
平均・合計				1.9

達成度	平均	
3.0	2.5	36.6%

■レーダーチャート

この政策についても、達成度が低くなっています。ほとんどの施策において目標達成がかなわず、政策の成果目標についても満足度が上がらなかったなど、目標達成に向けた取り組みが必要となっています。

今後は目標の達成に向け、何が必要かを検討しながら事業推進をしていく必要があります。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		安全・安心のまちづくり
施策		★地域防災力・減災力の強化
	概要	東日本大地震や近年の台風大型化による土砂災害、そしてまた、平成26（2014）年の豪雪被害など、本市においても自然災害の発生が目立ってきました。また、日常の暮らしにおいても、凶悪犯罪の多発をはじめ、悪質商法によるトラブルの急増、食の安全をめぐるさまざま

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	都留市消防団管理運営費	6,298千円	15,643千円	21,941千円	4	4	3	4	3.8	3
2	災害対策費（行政防災室分）	12,569千円	12,466千円	25,035千円	5	5	4	5	4.8	5
3	防災行政無線管理事業	5,365千円	8,615千円	13,980千円	5	5	4	4	4.5	1
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		24,231千円	36,724千円	60,955千円	4.7	4.7	3.7	4.3	4.3	3.0

■一次評価結果

点　数
86.7点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
54,203千円	36,724千円	67.8%	24,231千円		60,955千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５　5	様々な大規模災害等の発生率が高まっている中、地域の共助力である「防災力」「減災力」を高める本施策の必要性は非常に高い。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５　5	この施策の事業実施により、自主防災会の活発な活動や、防災訓練の実施など、市民の防災意識の向上が顕著にみられるようになった。また、防災環境についても整いつつあり、有効性の高い施策である。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５　5	地域住民の共助の意識が高まり、自主的に防災・減災について考える機会も多くなりつつある。費用対効果としては、十分に高いと考えられる。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５　5	本施策における取り組みについては、「いざ」という時のために全市民を対象として実施するものであり、公益性の高い取り組みである。

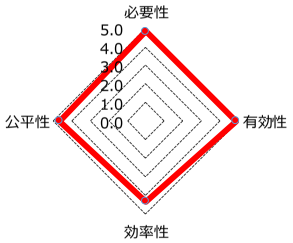
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.8	4.8	4.3	4.7

■施策評価結果

点　数	達成度
93.3点 /100点	50.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も引き続き事業実施を行い、市民レベルでの防災意識のさらなる向上を目指して取り組んでいく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	田中正樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		安全・安心のまちづくり
施策		災害対策及び消防救急の充実
	概要	想定される災害はもちろん、近年増加傾向にある都市型・複合型災害などに備えた、自然災害防止事業の推進や、「公助」としての役割を果たすための体制を整備するとともに、いざという時の消防救急体制を充実させます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	常備消防総務関係費	1,037千円	8,284千円	9,321千円	5	5	5	3	4.5	5
2	教育訓練関係費	1,115千円	4,376千円	5,491千円	5	4	5	4	4.5	1
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		2,151千円	12,659千円	14,810千円	5.0	4.5	5.0	3.5	4.5	3.0

■一次評価結果

点　数
90.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
14,451千円	12,659千円	87.6%	2,151千円		14,810千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	5	評価点の判断理由
				災害時の公助としての役割を果たすための体制充実は、地域経営を行う上での必須項目とも言え、必要性は非常に高い。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	5	評価点の判断理由
				公的な災害・救急体制の充実は、「安全・安心のまちづくり」にとって非常に有効であり、欠かすことのできない施策である。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	5	評価点の判断理由
				取り組み全般について、不必要なものはなく、効率的に事業実施が行えている。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	5段階評価 1～5	5	評価点の判断理由
				施策事業の効果の波及は、全市民・全地域に及ぶものであり、公平性については十分に担保されている。

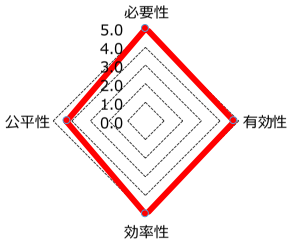
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.8	5.0	4.3

■施策評価結果

点　数	達成度
95.点 /100点	50.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

消防体制の充実に関しては、様々な機器等が必要となることもあり、財政状況との兼ね合いがある。しかしながら、十分な検討を重ね、優先順位を決める中でこうした状況にも対応していきたい。また、市民の生命を守る観点からも、消防救急体制の充実は、継続して発展的に行っていくこととする。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	藤江　隆

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		安全・安心のまちづくり
施策		防犯対策の推進
	概要	犯罪や事故のない、誰もが安心して暮らせるまちを実現するため、防犯広報活動を積極的に展開し、防犯意識の醸成に努めるとともに、地域住民や各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携により、地域の安全対策を推進します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	防犯対策事業	1,815千円	571千円	2,386千円	5	3	4	4	4.0	1
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		1,815千円	571千円	2,386千円	5.0	3.0	4.0	4.0	4.0	1.0

■一次評価結果

点　数
80. 点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
732千円	571千円	78.0%	1,815千円		2,386千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（▼5） 低い　高い ５段階評価 1～5：5	市民の生命と財産を守るため、防犯対策に注力することは必須であり、必要性は高い。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（▼5） 低い　高い ５段階評価 1～5：5	公共にできることは、啓発事業等のみとなり、市民生活に関わる部分での関わりが難しいが、意識啓発を行うことによって未然防止などに繋がるため、上位政策への貢献度は高い。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（▼5） 低い　高い ５段階評価 1～5：5	費用対効果については適切に実施されている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5（▼5） 低い　高い ５段階評価 1～5：5	市民生活の根幹を成す部分でもあり、公平性については担保されている。

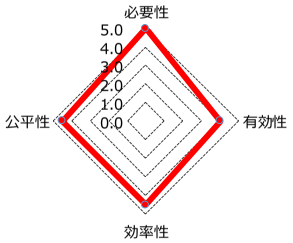
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.0	4.5	4.5

■施策評価結果

点　数	達成度
90. 点 /100点	

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

市民の防犯意識向上のため、継続的な取り組みが必要である。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		安全・安心のまちづくり
施策		交通安全対策の推進
	概要	児童や生徒の通学路安全対策や、高齢者や障がい者の交通の安全を確保するため、市民、事業所、行政などが協力し、交通安全対策を進めます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	交通安全対策事業	4,241千円	3,532千円	7,773千円	5	4	4	5	4.5	5
2	交通安全施設設置事業	3,240千円	3,481千円	6,721千円	5	5	5	5	5.0	5
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		7,480千円	7,012千円	14,492千円	5.0	4.5	4.5	5.0	4.8	5.0

■一次評価結果

点　数
95.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
7,101千円	7,012千円	98.7%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
7,480千円	640千円	13,852千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：5	市民一人ひとりの生命と財産を守るとともに、安全・安心のまちづくりを実現するために、交通安全対策は不可欠な取り組みである。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：5	安全運転の啓発とともに、自転車教室など、日ごろの交通安全意識を向上させるための取り組みを実施しており、有効性は高いものと考える。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：5	警察署や交通安全協会との連携のもと、啓発活動も立哨や標語募集など、多面的に実施しており、効率的に実施できている。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い）	評価点の判断理由
	５段階評価 １～５：5	全ての市民が交通安全啓発による安全・安心の恩恵を享受しており、公平性に何ら問題はない。

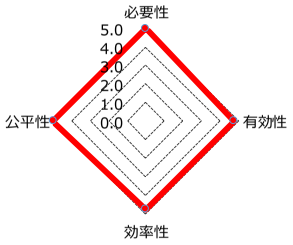
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.8	4.8	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
97.5点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も引き続き啓発活動を中心とした取り組みを実施していく。また、警察署とも連携を取る中で、交通事故発生率の高い個所への対策など講じていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

② 個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

総合評価は平均 4.2（５点満点）となり、100 点満点換算では 83.9 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 38.1%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 70,506 千円、人件費 33,799 千円、そして歳入として補助金等 2,303 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 102,002 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化	4.5	4.0	4.0	4.3	19,806	13,216	0	33,022	3.0
市政情報提供手法の充実・多角化	4.8	3.3	3.5	5.0	10,799	6,894	396	17,297	1.0
市民提案・要望窓口の明確化	5.0	4.5	5.0	5.0	27	674	0	701	1.0
個々の果たす役割の明確化と環境の整備	4.8	4.1	4.1	4.1	38,855	12,237	907	50,185	4.3
地域間連携の推進	3.5	3.5	4.0	3.0	1,019	778	1,000	797	1.0
平均・合計	4.5	3.9	4.1	4.3	70,506	33,799	2,303	102,002	2.1

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	4.5	3.9	4.1	4.3	4.2	83.9点

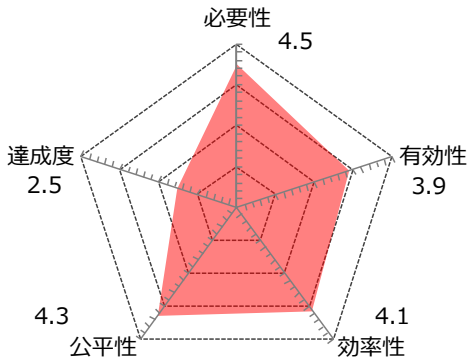
■政策成果目標達成度

項　目	現況値	目標	実績	達成度
市民活動支援センター利用者数	957人	972人	993人	5.0
市民参加の促進状況に対しての満足度	18.2%	19.4%	17.0%	1.0
平均・合計				3.0

達成度	平均	
2.1	2.5	38.1%

■レーダーチャート

この政策についても、達成度の低さが目立ちます。施策レベルでは、「市政情報提供手法の充実・多角化」、「市民提案・要望窓口の明確化」、「地域間連携の推進」が目標達成できず、また、政策レベルにおける成果目標では「市民参加の促進状況に対しての満足度」が目標を下回りました。今後は目標の達成に向け、何が必要かを検討しながら事業推進をしていく必要があります。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策		★まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化
	概要	移住してくるアクティブな高齢者が、まちに溶け込み、地域や多世代の人々とつながりを持ち、経験や知識を活かし、まちづくりの担い手として活躍できる仕組みを構築します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	コミュニティセンター管理事業	10,572千円	19,301千円	29,873千円	4	4	3	4	3.8	1
2	成人式開催事業	2,644千円	577千円	3,221千円	4	4	5	5	4.5	5
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		13,216千円	19,806千円	33,022千円	4.0	4.0	4.0	4.5	4.1	3.0

■一次評価結果

点　数
82.5点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
20,812千円	19,806千円	95.2%	13,216千円		33,022千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 1～5：5	現在、行政の人的物的資源も縮小し、まちの担い手として市民個人や団体などを育成していくことの重要性が叫ばれる時代となっている。こうした中、本施策は非常に重要な位置を占めることとなる。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 1～5：4	協働のまちづくり推進会も発足から15年以上を経過し、各地域ごとの特色に合ったまちづくりが形となりつつある。自主的なまちづくりが実施される環境が整っており、有効性は高い。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 1～5：4	費用対効果については、適正に上がっており、事業も効率的に実施ができている。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 1～5：4	地域づくりのための実施施策であり、公益性は十分に高いと判断する。

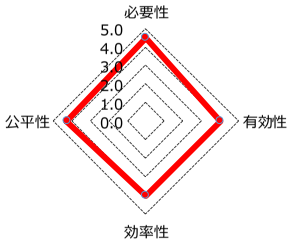
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.5	4.0	4.0	4.3

■施策評価結果

点　数	達成度
83.8点 /100点	50.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

個々の役割を自覚し、市民総参加のまちづくりを実現するため、地域活動や市民活動の重要性の周知と、市の支援策を理解していただくための取り組みを更に発展させていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策		市政情報提供手法の充実・多角化
	概要	多くの市民がまちづくりに関わるためには、分かりやすい形で行政やまちづくりの情報を提供していくことが必要であり、こうした情報等を活用しながら、まちづくりの方向性や地域経営の状況について、市民がチェックできる仕組みを構築します。また、ＩＣＴの活用など

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	議会だより発行事業	1,815千円	2,110千円	3,925千円	4	3	2	5	3.5	1
2	広報発行事業	5,080千円	8,689千円	13,769千円	5	4	4	5	4.5	1
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		6,894千円	10,799千円	17,693千円	4.5	3.5	3.0	5.0	4.0	1.0

■一次評価結果

点　数
80.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
11,902千円	10,799千円	90.7%	6,894千円	396千円	17,297千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	市政情報を様々な手法によって市民へと伝えることは、今まちのどこで何が起きているかを共有することに繋がり、まちづくり意識の向上にも役立つ。このため、非常に必要性の高い取り組みである。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：3	広報誌等の発行では、各家庭まで自治会を通じて配布しているものの、市民の多数が読んでいない状況である。今後どのようにしていけば手に取っていただけるかなど、研究・検討の必要がある。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	現在、広報つるにおいては、職員のＤＴＰによる発行を行っている。編集にも時間がかかるが、出来る限り新しい情報を載せるという点においては有効である。しかしながら、効率性を検討し、アウトソースとの比較を行いながら検討していく必要がある。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	全ての市民に情報提供する媒体としては、十分に公平性は担保されていると考える。

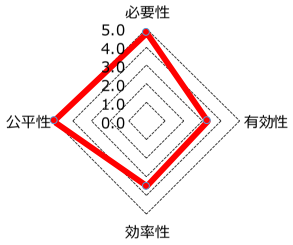
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.8	3.3	3.5	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
82.5点 /100点	

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

内容の充実と併せ、編集方法の検討などを実施していく。また、新たな情報伝達手段の検討なども並行して実施し、行政と市民の情報共有を進めていきたい。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	田中　正樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策	市民提案・要望窓口の明確化
概要	市民の方々の、市政に関する提案や改善要望などを反映できるよう、広聴の窓口を明確化し、幅広く意見を募集します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	ふれあい集会開催事業	674千円	27千円	701千円	5	5	5	5	5.0	1
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		674千円	27千円	701千円	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	1.0

■一次評価結果

点　数
100. 点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
27千円	27千円	100.0%	674千円		701千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	市政提案などの窓口を設けることは、行政活動の幅を広げることにもつながり、より良いまちづくりを進めるうえで非常に重要である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	ふれあい集会を行うなどにより、本市実施施策等の周知が進んでいる。また、多くの意見も寄せらせ、政策への反映の面でも多いに役立っている。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	非常にコストを掛けずに実施しており、ふれあい集会のほか、「目安箱」の設置など、費用対効果は大きいものがある。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	全ての市民に意見提出の窓口を開いており、ふれあい集会などは各地域・団体等カテゴリを分けて多くの市民が参加できるよう配慮している。

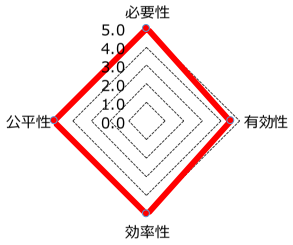
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.5	5.0	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
97.5点 /100点	

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後はより精度の周知に力を入れ、これまで以上の多くの意見提出があるよう注力していく。また、他の手法の検討なども併せ、実施していく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	田中　正樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策		★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
	概要	「生涯活躍のまち（ＣＣＲＣ）」事業による移住者を含め、世代や分野を越えた多世代の地域住民同士が、出会いやふれあいを通じ、生きがいとやりがいを持ち、自分らしい都留ライフを送れるような環境を整備します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	まちづくり交流センター管理運営事業	4,230千円	14,387千円	18,617千円	4	4	3	4	3.8	2
2	まちづくり推進事業	3,110千円	21,443千円	24,553千円	5	5	5	5	5.0	5
3	協働のまちづくり事業	2,203千円	2,206千円	4,409千円	4	4	4	4	4.0	5
4	男女共同参画推進事業	2,696千円	820千円	3,516千円	5	4	5	4	4.5	5
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		12,237千円	38,855千円	51,092千円	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3

■一次評価結果

点　数
86.3点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
40,129千円	38,855千円	96.8%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
12,237千円	907千円	50,185千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 5	都留市自治基本条例に基づき、一人ひとりが活躍できる環境整備を実施していくことは、まちづくりの基盤を整備することとなり、大変重要な施策である。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	本市においては、協働のまちづくり事業など、市民自身がまちの課題解決に取り組む機運が醸成されており、個々により役割をもって地域貢献を行っている。こうした点において、十分有効であると考えられる。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	構成事業はそれぞれに成果を上げており、各地域のまちづくりにも特色が見られるなど、費用対効果は大きい。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い　高い） ５段階評価 １～５ ： 4	すでに15年以上にわたって協働のまちづくり等は実施しており、その認知度も十分高いものがあるが、関わる市民は市民総参加とまではいかない状況もある。今後はこうした部分を改善し、市民総参加でのまちづくりを進めていきたい。

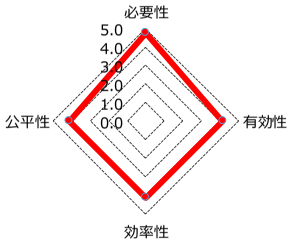
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
4.8	4.1	4.1	4.1

■施策評価結果

点　数	達成度
85.6点 /100点	81.3%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も引き続き市民一人ひとりの意識向上に努め、地域における役割の認識を深める活動を実施するとともに、活動が継続できるよう、効率的な事業実施を支援するなどしていく必要がある。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	小俣　秀樹

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
政策		個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
施策		地域間連携の推進
	概要	経済圏を共にする近隣市町村や河川の流域でつながる地域、更には国際的な連携などの地域間連携を促進し、相互に尊重し、様々な分野で互恵し合える関係を確立します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	国際交流事業	778千円	1,019千円	1,797千円	3	3	4	2	3.0	1
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		778千円	1,019千円	1,797千円	3.0	3.0	4.0	2.0	3.0	1.0

■一次評価結果

点　数
60. 点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率	人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
1,019千円	1,019千円	100.0%	778千円	1,000千円	797千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	グローバル化が進む中、国内・国外を問わず、人と人、自治体と自治体の連携や交流などの必要性が高まっている。こうした中、地域間連携の重要さは以前にも増してその必要が高まっているといえる。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	姉妹都市交流に関しては、これまで多くの市民が交流事業等に関わっており、ヘンダーソンビル市の姉妹都市としての認知度は高い。また、近隣市町村との連携については、行政の人的資源や財政状況なども厳しい状況にあるため、補完しながら行政サービスの実施を行うという観点からも有効性は高い。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	姉妹都市交流に関しては、数年に一度、一部の市民が交流する形となっており、効率的に行うことは難しい。ただし、学校現場との連携等により、手紙を通じた交流なども実施されている。近隣市町村との連携については、十分効率的に実施ができていると考える。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い〜高い） ５段階評価 １～５：4	姉妹都市交流に関して言えば、一部の市民のみが交流を行っているため、今後は広く市民全体に広げる手法等の検討が必要となる。

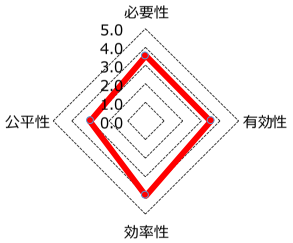
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
3.5	3.5	4.0	3.0

■施策評価結果

点　数	達成度
70. 点 /100点	

■評価のレーダーチャート

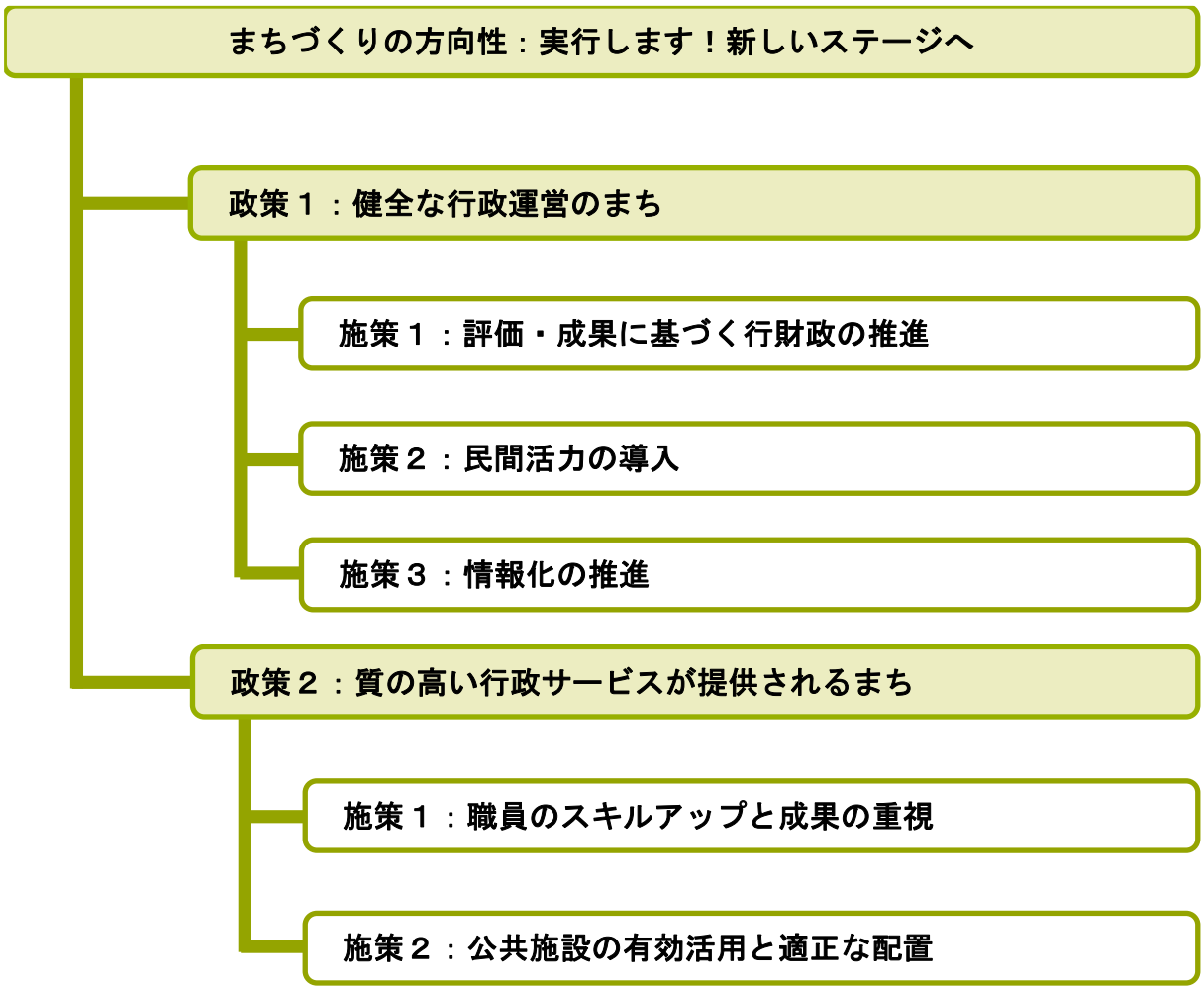


■来年度取り組みに向けた課題や所見

文化・福祉・産業等、様々な分野において連携することにより、単独の行政に幅を持たせた行政サービスの提供が可能となるため、今後も地域間連携を広く実施していくこととする。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	田中　正樹

（６）行財政分野



① 健全な行政運営のまち

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「健全な行政運営のまち」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

施策のうち、「民間活力の導入」については、予算事業に評価対象事業が含まれなかったため、施策評価はありません。

その他事業による総合評価は平均 4.4（５点満点）となり、100 点満点換算では 88.1 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 73.2%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 232,400 千円、人件費 139,439 千円、そして歳入として補助金等 30,327 千円であり、歳入を差し引いて、純コストとしては 341,512 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
評価・成果に基づく行財政の推進	5.0	4.3	4.0	3.5	10,239	2,074	0	12,313	5.0
民間活力の導入					0	0	0	0	
情報化の推進	5.0	4.6	3.9	5.0	222,161	137,365	30,327	329,199	4.7
平均・合計	5.0	4.4	3.9	4.3	232,400	139,439	30,327	341,512	4.9

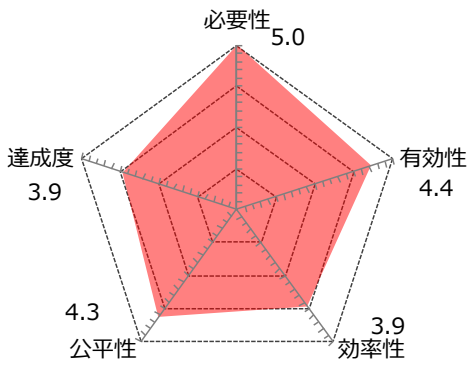
総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	5.0	4.4	3.9	4.3	4.4	88.1点

■政策成果目標達成度

項　目	現況値	目標	実績	達成度	達成度	平均	
実質公債費比率	15.1%	13.5%	13.0%	5.0			
市民サービスの状況への満足度	34.9%	38.3%	14.3%	1.0			
平均・合計				3.0	4.9	3.9	73.2%

■レーダーチャート

バランスよく得点できていますが、効率性において若干低い点数となりました。行政運営等は、効率性を求めるものでもありますので、今後はこうした事業の手順等をチェックし、効率性の高い事業推進に努めていく必要があります。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	行財政分野「実行します！新しいステージへ」
政策	健全な行政運営のまち
施策	評価・成果に基づく行財政の推進
概要	高度化・多様化する市民ニーズなど、増加する行政需要と厳しい財政状況を考慮し、市民の目線で、評価・成果を重視した行財政経営を展開します。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	財務会計システム管理事業	130千円	4,144千円	4,274千円	5	5	5	3	4.5	5
2	地方公会計制度推進事業	1,944千円	6,096千円	8,040千円	5	4	3	3	3.8	5
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		2,074千円	10,239千円	12,313千円	5.0	4.5	4.0	3.0	4.1	5.0

■一次評価結果

点　数
82.5点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
11,292千円	10,239千円	90.7%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
2,074千円		12,313千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

		評価点の判断理由
施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：5	適切な行政サービスの執行のため、評価・成果に基づき、適正な予算執行を実施していくことについては必要性が高い。

②施策の有効性

		評価点の判断理由
政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	計画進捗を適切に評価等に基づいて実施していくことは非常に有効であり、適切な地域経営のために大きく貢献するものである。

③施策の効率性

		評価点の判断理由
費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	評価等については、実施年度の翌年に実施することとなるため、予算反映等に一年のブランクが発生する。しかしながら、適切に実施することにより、効率的な行財政運営が可能となる。

④施策の公平性

		評価点の判断理由
受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い　高い） ５段階評価 １～５：4	これら取り組みは行政サービスの実施に直接つながるものであるため、公平性は担保されていると考える。

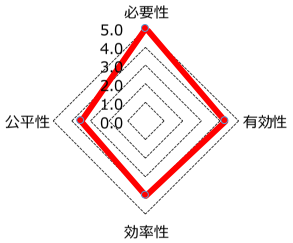
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.3	4.0	3.5

■施策評価結果

点　数	達成度
83.8点 /100点	100.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

評価事業としては、財務関連事項であるが、それらと並行して行財政改革や行政評価の徹底などを進め、効率的で効果的な地域経営を実施していく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	髙山　竜一

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	行財政分野「実行します！新しいステージへ」
政策	健全な行政運営のまち
施策	情報化の推進
概要	業務システムをはじめ、市民への情報提供等もＩＣＴ（情報・通信技術）を活用して情報化し、市民の利便性を高めるとともに、効率的な行政運営を進めます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	情報ネットワーク管理事業	5,591千円	74,440千円	80,031千円	5	4	4	5	4.5	5
2	基幹系システム管理事業	5,591千円	71,291千円	76,882千円	5	4	4	5	4.5	5
3	各種業務システム管理事業	2,796千円	4,993千円	7,789千円	5	4	4	5	4.5	5
4	総合行政ネットワーク事業	2,209千円	441千円	2,650千円	5	5	4	5	4.8	5
5	社会保障・税番号制度事業	4,194千円	3,100千円	7,294千円	5	4	4	5	4.5	5
6	債権回収特別対策費	6,479千円	5,811千円	12,290千円	5	4	3	5	4.3	4
7	賦課徴収費	110,507千円	56,244千円	166,751千円	5	5	3	5	4.5	4
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		137,365千円	222,161千円	359,526千円	5.0	4.3	3.7	5.0	4.5	4.7

■一次評価結果

点　数
90.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
233,158千円	222,161千円	95.3%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
137,365千円	30,327千円	329,199千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：現在のほとんどの業務が情報化されており、この施策を推進していくことは適切な行政サービスの提供に繋がり、その必要性は高い。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：ネットワークを適切に管理・運用していくことは、健全な行財政運営に繋がるため、その有効性は非常に高い。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５	4

評価点の判断理由：ICT等を活用した業務の情報化により、非常に効率的な業務実施が可能となっている。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	1 2 3 4 ▼5（低い〜高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：行財政サービスの基盤を成すインフラであり、公平性についてはよく担保されている。

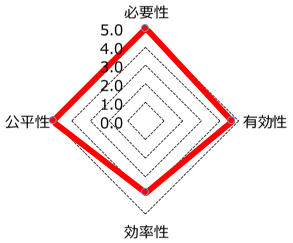
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	4.6	3.9	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
92.5点 /100点	92.9%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も適切なネットワークの管理・運用と、更なる情報化を推し進めることによって健全な行財政運営を推進していく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	山口哲央

② 質の高い行政サービスが提供されるまち

■政策評価結果

各施策の評価を基に、「質の高い行政サービスが提供されるまち」の総合評価と、設定された成果目標の達成度、そして事業コストを算出しました。

施策のうち、「公共施設の有効活用と適正な配置」については、予算事業に評価対象事業が含まれなかったため、施策評価はありません。

その他事業による総合評価は平均 4.9（５点満点）となり、100 点満点換算では 97.5 点でした。また、一方で成果目標による達成度は 62.5%となりました。

また、プロジェクトにかかったコストとしては、支出に事業費 1,749 千円、人件費 2,592 千円、そして歳入として補助金等の収入は無く、歳入を差し引いて、純コストとしては 4,341 千円となりました。

■政策評価

施策名	必要性	有効性	効率性	公平性	事業費（千円）	人件費（千円）	補助金等（千円）	純コスト（千円）	達成度
職員のスキルアップと成果の重視	5.0	5.0	4.5	5.0	1,749	2,592	0	4,341	4.0
公共施設の有効活用と適正な配置					0	0	0	0	
平均・合計	5.0	5.0	4.5	5.0	1,749	2,592	0	4,341	4.0

総合評価	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	100点換算
	5.0	5.0	4.5	5.0	4.9	97.5点

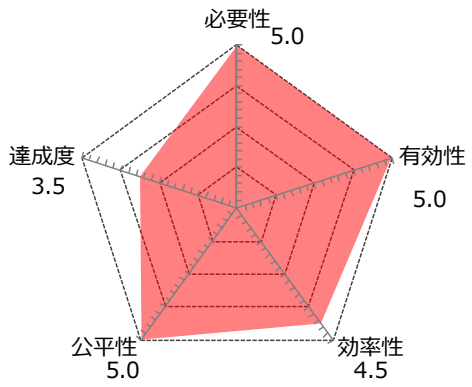
■政策成果目標達成度

項 目	現況値	目標	実績	達成度
職員1人あたりの研修参加回数	1.7回	2.2回	2.4回	5.0
職員の対応への満足度	43.9%	46.0%	21.5%	1.0
平均・合計				3.0

達成度	平均	
4.0	3.5	62.5%

■レーダーチャート

バランスよく得点できていますが、効率性において若干低い点数となりました。行政運営等は、効率性を求めるものでもありますので、今後はこうした事業の手順等をチェックし、効率性の高い事業推進に努めていく必要があります。



■施策評価結果

平成29年度第６次長期総合計画施策評価シート

まちづくりの方向	行財政分野「実行します！新しいステージへ」
政策	質の高い行政サービスが提供されるまち
施策	職員のスキルアップと成果の重視
概要	職員の職務遂行能力や勤務実績などの適正な評価に基づく人事制度を導入するとともに、業務に必要な多くのスキルを身に着けられるような、幅広い職員研修メニューを整備し、職務における成果向上と職員の質を高めます。

一次評価（担当課による評価）

■施策を構成する予算事業と評価

	事業名	人件費	事業費	総計	必要性	有効性	効率性	公平性	平均	達成度
1	職員研修事業	2,592千円	1,749千円	4,341千円	5	5	4	5	4.8	4
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
合計・平均		2,592千円	1,749千円	4,341千円	5.0	5.0	4.0	5.0	4.8	4.0

■一次評価結果

点　数
95.点 /100点

■コスト

予算現額	執行額①	執行率
2,128千円	1,749千円	82.2%

人件費②	補助金等③	純コスト①+②-③
2,592千円		4,341千円

二次評価（部局等による評価）

①施策の必要性

施策の公共性、市民ニーズなどを総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：行政サービスを担う職員のレベルアップを図ることは、市民にとって住みよいまちの形成につながり、ひいては健全な行財政運営に繋がるため、非常に必要性は高い。

②施策の有効性

政策への貢献度や効果の検証	▼ 1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：上記にも記述したとおり、この施策の有効性は非常に高い。また、現在も多くの職員が率先して研修に参加し、切磋琢磨している。

③施策の効率性

費用対効果事業規模など総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：研修参加と業務の兼ね合いなど、各課によって非常にこまやかにマネジメントされており、非常に効率的に実施されている。

④施策の公平性

受益者が限定されていないか 負担は適当か 総合的に判断	▼ 1 2 3 4 5（低い 高い） ５段階評価 １～５	5

評価点の判断理由：公平性は十分に担保されている。

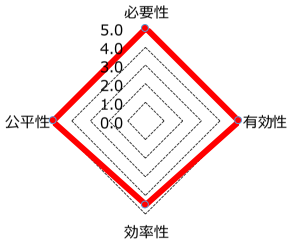
■総合評価（一次評価、二次評価の平均点）

施策評価			
必要性	有効性	効率性	公平性
5.0	5.0	4.5	5.0

■施策評価結果

点　数	達成度
97.5点 /100点	75.0%

■評価のレーダーチャート



■来年度取り組みに向けた課題や所見

今後も各課との調整を図る中、より多くの職員のスキルアップの場を提供し、効果的な行政サービスの提供につなげていく。

主管部局・課チェック欄	☑
評価記入者	田中　正樹